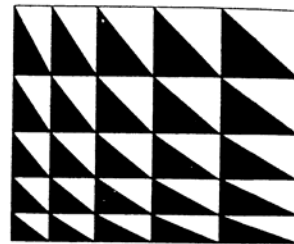


# モノグラフ・高校生'85

## vol.14 高校生の抱く学業成績観

©1985(株)福武書店 教育研究所/加藤智禧・和田京子・田中美幸  
高校教育研究会/深谷昌志(放送大学教授)



見本

### 目次

はじめに.....	2	第Ⅲ章 学業成績の背景.....	28
要約とサンプル.....	4	できる子、できない子のイメージ.....	28
テーマの設定.....	5	勉強の得意な生徒は努力家なのか.....	33
第Ⅰ章 学業の意味.....	8	まとめに代えて.....	38
おとなとして必要なもの.....	8	資料 調査票見本および集計表.....	39
どんな学力が必要なのか.....	12		
第Ⅱ章 学業成績の重み.....	19		
学業成績と進路.....	19		
自己像との関連の中で.....	24		



※おことわり：本文中に使用した写真は本文・テーマとはいっさい関係ありません。

# 「はじめに」●

---

単純に考えれば、成績の良い生徒は、まじめに学習を重ね、その結果として、良い成績をとった。そして、成績の不振ぎみの生徒は、さまざまな理由は考えられるにせよ、怠けていたから、悪い点数をとったのであろう。

その限りでは、成績の良い生徒のまじめな学習態度をほめ、そして、成績の不振ぎみの生徒に、もっと勉強するように注意するのは当然と考えられる。

しかし、ものごとには、得意、不得意があり、すべての生徒たちが、勉強が得意というわけにもいきまい。したがって、生徒たちの中には、努力を重ねているのに、そうした学習努力が成績の良さに結びつかない者もいよう。そうした生徒たちは、努力が報いられなままに、努力を欠く自分という自己像を抱くことになる。その結果、成績が不振だけでなく、自分についても自信を持てなくなる。そうすると、成績の良さが善で学業不振が悪ともいいがたくなる。本レポートを通して考察していきたいのは、学業成績にからむそうした文化的な背景の問題である。

昭和60年2月

放送大学教授 深谷昌志

## 調査の企画

### 高校教育研究会

- 代表 深谷 昌志 (放送大学教授)  
武内 清 (武蔵大学教授)  
明石 要一 (千葉大学助教授)  
石崎 廣義 (私立城北高校教諭)  
仁平 正男 (東京都立八王子東高校教諭)  
蒲生真紗雄 (東京都立武蔵高校教諭)  
尾澤 弘恒 (東京都立荻窪高校教諭)  
穂坂 明德 (神奈川県立平安高校教諭)  
田中 雅文 (三井情報開発研究員)  
前田 一美 (日本医療福祉専門学院専任講師)  
小島 弘道 (筑波大学助教授)  
植木 陽子 (東京学芸大学大学院生)  
小沼 克年 (東京大学大学院生)  
相馬 久子 (東京大学大学院生)

### 本書の執筆担当

深谷 昌志

## 要約とサンプル

### 社会生活を送るのに必要とされるのは

まじめに勉強し、成績が優秀で、友だちに信頼されること(表5)。

### おとなとして必要な学力

英語を話せたり読めたりするのは必要だろうが、その他の学力はそれほど求められないだろう(表9)。

### 成績の良さと将来像

成績の良い生徒は、進学や職業生活だけでなく、家庭生活の面でも明るい未来像を抱いている(図3)。

### 成績の良さと自己像

成績の良い生徒は、まじめでねばり強い自分というような自己像を抱いている(図4)。

### 成績の良い生徒のイメージ

まじめで、がんばるタイプで人々から信頼されるだろう(図5)。

### 良い成績をとるのには

まじめに授業を聞き、きちんと予習や復習をすることが大事だと思う(表23)。

### 成績の良い生徒の学習

実際にも、成績の良い生徒は授業をまじめに聞き、予習や復習をきちんとしている(図6)。

### まとめ

成績の良い生徒は、まじめな努力型であるから、人々から信頼される。生徒たちはそう思っているし、実際にも、そうした結果が得られている(表28)。そこまではよいのだが、成績の不振ぎみの生徒は、学業が不振だけでなく、怠け者の生徒というレッテルをはられる。その結果、学業成績の良し悪しが、人間性そのものをシンボライズするようになる。学業成績の他に、人間性を占う尺度があってよいのではないか。それと同時に、成果とは別に、学習努力をそれ自体として大事にできないのか。そんな感じを強く抱いた。

### サンプル

公立の普通科高校4校			
男子	683名	) 計 1,286名	
女子	603名		
実施時期	昭和59年11月		

## テーマの設定

### 学力モノカルチャー

本モノグラフ・シリーズは、周知のように、小学生から高校生までを対象として分析を進めている。そうした中で、学業成績の問題は、子どもや生徒を扱っているのであるから、当然ともいえようが、それ以上に、大きな重みを持って考察を重ねてきた。

『モノグラフ・高校生』の「高校生の描く未来像」(vol. 1)や「高校間格差」(vol. 3)、「高校生活をふりかえって」(vol. 7)などは、学業成績をタイトルとしないにせよ、成績の良し悪しを正面に据えて分析を行なったレポートである。そして『モノグラフ・中学生の世界』でも「学業不振とその背景」(vol. 5)、

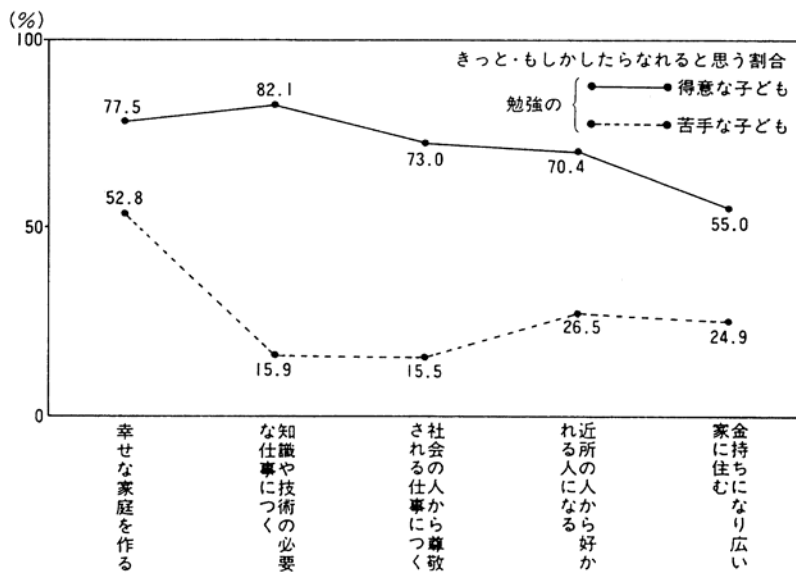
「高校進学」(vol. 11)、「学業成績」(vol. 15)などで成績の問題を扱ってきた。さらに、『小学生ナウ』でも、「学業成績」(vol. 3-3)、「家庭学習」(vol. 3-7)、「学習塾」(vol. 4-8)などは勉強の問題を焦点とした調査である。

こうした形で、学業成績にこだわりを持ったのは何故か。それは、成績の良し悪しが子どもたちの心に必要以上に重くのしかかっている事実気づいたからである。

端的に言って、こうした現象を学力モノカルチャーと名づけてみたい気がするが、子どもたちは、学力の良し悪しを、唯一の尺度として、仲間たちを見つめている印象を受ける。

具体例をあげてみよう。図Aは、小学高学

図A 勉強の得意な子・苦手な子はどんな未来を送りそうか(小学生)



年生に「勉強の得意な子」と「苦手な子」とを連想させ、それらの子どもがおとなになったら、どんな生活を送りそうなのかを推定させた結果である。

図から明らかなように、子どもたちは、勉強が得意あるいは苦手だからといって、将来の家庭生活にそれほど影響を受けることはない。しかし、「新しい知識を必要とする仕事につく」、「社会の人から尊敬される仕事につ

く」といった社会的な達成を可能にするのは成績の良さだと信じている。

こうした結果は、それは子どもらしきのあらわれであり、社会的な見方の成長する中学生ともなれば、成績の良さを、それほど過大評価しなくなるとも考えられる。そこで、同じ設問を用いて、中学生の反応を調べると以下の通りとなる。

表5 →

	勉強の得意な子(A)	勉強の苦手な子(B)	(A)/(B)
① 社会に役立つ人	45.2%	5.0%	9.0倍
② 社会的に尊敬される	28.2%	5.5%	5.1倍
③ 金持ちになり、広い家に住む	18.5%	5.8%	3.2倍
④ いい父(母)になる	40.8%	29.3%	1.4倍
⑤ みんなから好かれる	32.7%	22.7%	1.4倍

(「ぜったい」「たぶん」なれると思う割合)

(中学生)

したがって、中学生たちも、成績の良し悪しが未来を規定すると信じているのは確かのように思える。

### 成績は努力の反映

このように、子どもたちは、良い成績をとることを大事に考える態度を身につけているが、それならば、良い成績をとるには、どうすれば良いと思っているのか。その手がかりを表Aに示した。

小中学生の間に多少の開きが認められるが、いずれにせよ生まれつき勉強が得意、あるいは苦手ということはない。授業を熱心に聞き、帰宅後、まじめに予習や復習をするから良い成績がとれる。それに反し、勉強の苦手な子は授業をまじめに聞かない上に、家庭学習を怠けているから悪い成績をとるはめになる。つまり、子どもたちは成績の良し悪しを学習努力の反映とみなしている。

あらためてふれるまでもなく、学習の可能性については予想される以上に個人差がみられる。もちろん、学習努力を重ねることにより、どの子もその子なりに学習成果を上げることはできる。したがって、どの子にも教育の可能性が存在するのは確かだが、だからといって、それは結果の平等を意味するのではないのも事実であろう。

しかし、上述した通り子どもたちは、学業成績は学習努力を反映すると信じている。

しかし、このように学業成績を努力と結びつけ、そして、学業成績の重みを大きく評価するのは、小中学生の見方であった。高校生になれば、ものの見方が成熟しているだけに、成績の良し悪しに、ある程度の限定をつけ、クールな目で見つめているのではないか。そうした仮説に基づいて、高校生を対象として学業成績観を尋ねる調査を始めることにした。

表 A 勉強が得意・苦手の理由

(%)

			そう思う			やや そう 思う	思わない		
			とても	かなり	小 計		あまり	ぜんぜん	小 計
勉強の得意な子	授業をまじめに聞いているから	小学生	52.8	29.3	82.1	14.1	2.0	1.8	17.9
		中学生	43.1	31.9	75.0	15.2	5.3	4.5	25.0
	予習や復習をしっかりとしているから	小学生	52.1	26.8	78.9	15.8	2.2	3.1	21.1
		中学生	30.2	31.2	61.4	24.3	9.2	5.1	38.6
	生まれつき勉強が得意だから	小学生	17.0	16.0	33.0	41.0	7.8	18.2	67.0
		中学生	10.0	13.4	23.4	26.1	29.9	20.6	76.6
勉強の苦手な子	授業をまじめに聞かないから	小学生	34.1	29.1	63.2	20.9	11.9	4.0	36.8
		中学生	43.3	27.8	71.1	19.6	5.4	3.9	28.9
	家で勉強をしないから	小学生	45.3	28.5	73.8	18.2	5.5	2.5	26.2
		中学生	33.5	28.5	62.0	25.6	7.4	5.0	38.0
	もともと勉強が苦手だから	小学生	13.0	9.2	22.2	16.5	21.1	40.2	77.8
		中学生	18.3	17.8	36.1	28.8	20.0	15.1	63.9

設問「勉強の得意な（苦手な）友だちはどうしてそうなのだと思いますか」

## 第 I 章 学業の意味

---



### おとなとして必要なもの

---

テーマ設定の項でふれたように、本報告は、学業成績の意味を考えようとしている。そこで、まず、出発点として、生徒たちの学業成績の過去から現在までをたどると、表1の通りとなる。

本サンプルの場合、難易度の高いといわれる普通高校の協力を求めたので、当然、そうした事情を反映して、小学高学年まで、勉強が得意だった者の割合が半数前後を占める。そして、中学生になっても、4割近い生徒が勉強が得意だったと答えている。しかし、高校へ入ってみると、今までと異なり、勉強がもっとよくできる友が多い。そうしたことから、勉強に自信を持つ生徒は1割となり、

それとは逆に、勉強が「かなり」「とても」苦手な生徒が3割を上回り始めている。

つまり、望み通りの高校へ入り、皮肉なことに、勉強に苦手意識が生まれ始めたのが、本サンプルの標準的な姿と考えられる。

それでは、そうした学業成績は、生徒にとって、どのような意味を持っているのであろうか。表2は、おとなになり、「仕事につき、仕事をやりとげるのに」、「市民として社会生活を送っていくのに」、「良き父、良き母になるのに」を想定させ、「がんばりぬく力」や「学業成績が優秀」などの7項目が、どれくらい必要だと思うのかを尋ね、それをひとつの表にまとめた結果である。



表1 学業成績の変化

—このところ苦手になった—

(%)

		得意			苦手		
		とても	かなり	やや	やや	かなり	とても
国語	小学2～3年	25.7	19.6	28.4	16.3	5.1	4.9
	小学5～6年	23.6	23.8	27.4	15.9	4.7	4.6
	中1	18.4	21.3	29.4	20.5	6.1	4.3
	中3	15.7	21.4	26.9	21.3	9.2	5.5
	現在	3.3	9.6	29.9	27.5	16.0	13.7
数学	小学2～3年	31.8	21.1	23.8	14.4	4.8	4.1
	小学5～6年	31.4	25.3	22.2	14.4	4.0	2.7
	中1	26.5	22.2	28.3	16.6	4.2	2.2
	中3	24.9	23.7	24.1	19.1	5.1	3.1
	現在	4.1	8.2	23.8	26.5	20.5	16.9
英語	中1	30.4	17.2	22.3	17.9	5.6	6.6
	中3	24.0	20.7	23.2	20.0	7.5	4.6
	現在	4.6	8.8	23.2	29.0	19.4	15.0

表中の数値は、「とても必要」を意味しているが、仮に「とても必要だろう」が5割を超えた項目に注目すると

- 1) 仕事をするのに＝①がんばりぬく力があり、②友から信頼され、③人間的にやさしく親切なこと
- 2) 市民として＝①友から信頼され、②人間的にやさしく親切なこと
- 3) 良き親として＝①やさしい上に、②がんばりぬく力があり、③友から信頼されるとなる。それと比べ、まじめに勉強する態度や学業成績の優秀さは、それほど求められないだろうという評価である。

念のために、「がんばりぬく力がある」、

「友だちから信頼されている」、「学業成績が優秀」、「とてもまじめに勉強している」の4項目についての単純集計の結果を示すと、表3の通りで、前の2項は「とても必要」が半数を超えるのに対し、後の2項は最大値が「やや必要」ととどまっている。しかも、おとなとしての必要性と学業成績とのクロス結果を示した表4によると、勉強の苦手な生徒が、ほとんどの項目について、おとなになるのにそれらの力が必要だと思っているのが目につく。しかし、その差はそれほど大きくはない。つまり、どの生徒たちもおとなとして必要なものについての見方が共通しているような印象を受ける。

表2 おとなとして必要なもの

—がんばりぬく力と友からの信頼—

	0～9%	10～19%	20～29%	30～39%	40～49%	50～59%	60%以上
仕事をするのに	スポーツが得意 (9%)	成績優秀 (17%) 趣味が豊か (17%)	まじめに勉強 (24%)			がんばりぬく力 (59%) 友からの信頼 (54%) やさしさ (50%)	
市民として	まじめに勉強 (9%) 成績優秀 (8%) スポーツが得意 (7%)	趣味が豊か (15%)		がんばりぬく力 (33%)		友からの信頼 (55%) やさしさ (54%)	
良き親として		まじめに勉強 (18%) スポーツが得意 (12%) 成績優秀 (11%)	趣味が豊か (25%)			がんばりぬく力 (57%) 友からの信頼 (55%)	やさしさ (68%)

「とても必要」と答えた割合

表3 おとなとして必要なもの

(%)

		不 要			小 計	必 要		小 計
		まったく	かなり	や や		かなり	とても	
がんばりぬく力	仕事をするのに	1.3	1.6	11.0	13.9	27.0	59.1	86.1
	市民として	2.0	4.8	29.7	36.5	30.8	32.7	63.5
	良き親として	1.2	2.6	13.2	17.0	26.2	56.8	83.0
友からの信頼	仕事をするのに	1.4	2.2	15.8	19.4	26.6	54.0	80.6
	市民として	1.0	2.7	14.1	17.8	27.3	54.9	82.2
	良き親として	1.3	2.7	14.3	18.3	26.6	55.1	81.7
まじめに勉強	仕事をするのに	2.0	4.8	34.7	41.5	34.7	23.8	58.5
	市民として	4.0	14.1	49.6	67.7	23.1	9.2	32.3
	良き親として	2.5	8.6	40.1	51.2	31.2	17.6	48.8
学業成績優秀	仕事をするのに	3.9	6.5	43.6	54.0	28.8	17.2	46.0
	市民として	9.0	19.5	49.8	78.3	14.1	7.6	21.7
	良き親として	6.6	14.0	48.8	69.4	20.1	10.5	30.6

○=最大値

表4 おとなとして必要×学業成績

—成績によって評価に開きは少ない—

(%)

		とても得意	やや得意	やや苦手	かなり苦手	とても苦手
仕事をやりぬくの に	がんばりぬく力	62.6	56.9	58.0	56.3	66.5
	友からの信頼	56.1	56.1	50.4	51.2	60.7
	人間的なやさしさ	55.0	52.0	46.6	42.9	56.3
	まじめに勉強	24.6	22.8	22.2	22.4	29.3
	成績優秀	20.5	18.0	15.2	13.4	22.0
	趣味が豊か	19.3	16.0	15.2	15.8	19.4
	スポーツが得意	9.9	8.1	6.5	9.3	15.8
社会生活を 送るの に	がんばりぬく力	39.2	31.3	29.5	33.9	33.5
	友からの信頼	59.4	55.4	53.7	51.6	56.5
	人間的なやさしさ	57.9	53.9	55.4	51.8	52.9
	まじめに勉強	10.5	8.5	6.5	8.1	14.7
	成績優秀	6.4	8.1	5.7	5.3	14.1
	趣味が豊か	19.3	14.3	10.4	15.3	18.9
	スポーツが得意	7.0	7.5	6.0	5.7	11.5
良き親と して	がんばりぬく力	61.8	55.8	54.6	55.2	60.9
	友からの信頼	55.6	56.1	52.2	53.8	59.9
	人間的なやさしさ	73.7	67.0	65.5	66.5	70.3
	まじめに勉強	18.2	17.4	17.5	14.1	23.0
	成績優秀	9.4	10.9	9.3	9.3	15.2
	趣味が豊か	29.2	25.7	23.0	25.9	25.5
	スポーツが得意	8.2	12.6	12.0	13.5	15.7

「とても必要」と答えた割合 ○ = 最大値 — = 最小値

## どんな学力が必要なのか

それならば、具体的に、「ビジネスマンとして社会の第一線で活躍している会社の部長」、「医師として、難病の治療にあたっている人」、「あなたの担任の先生」や「両親」などが、どのような高校時代を過ごしたのかの形で、どんな高校生時代が職業的な達成に関連するのかを尋ねると、表5となる。

単純集計の結果を示した表6を視野に入れて考察すると、社会的に活躍している人たちが、高校時代がんばる力や友からの信頼を持っていたのは確かだが、それだけでなく、というより、それ以上に、まじめに勉強し、

良い成績をとっていたと思う。つまり、生徒たちは、社会生活を送るのに、がんばりも必要だが、それ以上に、高校時代に良い成績をとっていることが大事だと思っているのである。なお、表7に、部長に例をとって、学業成績別のクロス集計を示した。

もっとも、ひとくちに、成績の良さといっても、英語・数学・国語など、さまざまな教科が含まれている。そこで、以下のような10の項目を用意して、それらが、どの程度、必要なのかを尋ねることにした。

表5 どんな高校時代を過ごしたか

——仕事をするには成績の良さが必要——

	0～9%	10～19%	20～29%	30～39%	40～49%	50～59%	60%以上
医師	スポーツが得意(8%)	趣味が豊か (11%)		友からの信頼 (36%)	やさしさ (46%)	がんばりぬく力 (54%)	成績優秀 (67%) まじめに勉強 (60%)
会社の部長	趣味が豊か (7%) スポーツが得意(6%)	やさしさ (13%)	がんばりぬく力(29%) まじめに勉強 (26%) 友からの信頼 (22%)	成績優秀 (33%)			
高校の担任	趣味が豊か (8%)	やさしさ (19%) 友からの信頼 (16%) スポーツが得意(10%)	がんばりぬく力(28%)	まじめに勉強 (31%) 成績優秀 (31%)			
父親	趣味が豊か (7%)	成績が優秀 (19%) スポーツが得意(19%) やさしさ (16%)	友からの信頼 (22%) まじめに勉強 (21%)	がんばりぬく力 (31%)			
母親	趣味が豊か (8%)	まじめに勉強 (15%) 成績優秀 (13%) スポーツが得意(10%)	がんばりぬく力(27%) やさしさ (26%) 友からの信頼 (26%)				

「とても持っていた」割合

- 1 英語の本をすらすら読める
- 2 英語をうまく話せる
- 3 「徒然草」や「枕草子」などの古文を読める
- 4 むずかしい評論の本でも理解できる
- 5 日本の歴史にくわしい
- 6 社会のしくみや経済の動きにくわしい

英語  
国語  
社会

- 7 微積分をマスターしている
- 8 高校で習う程度の代数・幾何の力を持っている
- 9 高校で習う程度の化学の知識を持っている
- 10 生物について基本的な知識を持っている

数学  
理科

結果は、表8に示した通りで、大づかみにすると、英語を読み、そして、話せ、社会の

表6 どんな高校時代を過ごしたか

—成績の良さに加え、がんばる力も—

(%)

		持っていなかった		持っていた				小計
		まったく	あまり	やや	小計	かなり	とても	
成績優秀	医師	1.1	1.2	8.9	11.2	21.7	67.1	88.8
	会社の部長	1.3	3.1	21.8	26.2	41.2	32.6	73.8
	高校の担任	4.2	4.0	24.3	32.5	36.1	31.4	67.5
	父親	3.6	16.2	34.7	54.5	26.1	19.4	45.5
	母親	2.3	14.8	42.7	59.8	27.5	12.7	40.2
まじめに勉強	医師	1.1	1.3	9.3	11.7	28.6	59.7	88.3
	会社の部長	1.2	4.4	26.6	32.2	41.9	25.9	67.8
	高校の担任	4.2	4.1	23.7	32.0	36.6	31.4	68.0
	父親	4.4	17.3	31.4	53.1	25.9	21.0	46.9
	母親	2.6	14.7	39.6	56.9	28.0	15.1	43.1
がんばりぬく力	医師	1.0	1.7	10.1	12.8	33.2	54.0	87.2
	会社の部長	1.4	2.8	22.9	27.1	43.8	29.1	72.9
	高校の担任	4.3	4.7	27.1	36.1	36.3	27.6	63.9
	父親	2.3	7.4	26.2	35.9	33.6	30.5	64.1
	母親	1.8	7.3	29.6	38.7	34.1	27.2	61.3
友からの信頼	医師	1.3	5.1	23.3	29.7	34.1	36.2	70.3
	会社の部長	2.1	6.5	28.3	26.9	41.5	21.6	63.1
	高校の担任	5.2	8.2	40.2	53.6	30.7	15.7	46.4
	父親	2.1	6.7	34.7	43.5	34.9	21.6	56.5
	母親	1.3	4.8	30.5	36.6	37.5	25.9	63.4

○ = 最大値

しくみを知っていることは必要だろう。しかし数学や理科の学力は、それほど求められないという評価である。そして、単純集計の結果を抜すいた形で、表9に掲げたが、社会のしくみを知っておくことは「かなり必要」だが、英語を読めるのは、「やや必要」程度だし、その他は、「あまりいらないうらう」という評価である。

そうした意味では、表5のように、生徒たちは、社会生活を送るのに成績の良さが必要と答えているが、それは、具体的にたくさんの知識を正確に覚えているからというより、まじめに勉強し、学業をがんばったという学習態度の結果としての成績の良さを大事にしている。つまり、生徒たちは成績の良さをもたらす学習態度を高く評価しているのである

う。なお、成績別の集計結果は表10の通りで、成績の良い生徒ほど、学力の良さを認める傾向が得られている。

実際にも、表11のように、生徒にとって身近な父親や母親も、英語や数学の力をほとんど持っていないし、そして、自分自身も、将来おとなになった時、そうした学力をすこししか持っていないだろうと予想している(表12)。

こうしたデータを重ね合わせていくと、まじめにがんばって、勉強する態度はおとなになるのに必要であり、そしてその結果として、学力の良さは望ましいと思う。しかし、だからといって、ひとつひとつの知識を持つことはそれほど必要とされないうのが、生徒たちの標準的な見方であるように思える。

表7 部長になった人が持っていたもの×学業成績

(%)

項目	得意		苦手		
	とても	やや	やや	かなり	とても
がんばりぬく力	29.2	29.8	<u>26.1</u>	29.8	(32.8)
成績優秀	(35.7)	34.3	<u>29.6</u>	33.1	32.4
まじめに勉強	27.5	23.6	<u>22.6</u>	27.9	(31.4)
友からの信頼	20.0	23.3	<u>19.6</u>	(23.7)	21.0
人間的なやさしさ	11.7	13.8	<u>11.1</u>	13.9	(16.1)
趣味が豊か	<u>5.3</u>	6.3	6.5	5.8	(8.6)
スポーツが得意	<u>3.5</u>	6.9	4.6	7.4	(7.6)

とても持っていたと思う割合 ○ = 最大値 — = 最小値

表8 おとなに求められる学力

—社会のしくみがわかり英語ができる—

	0～9%	10～19%	20～29%	30～39%	40～49%	50%以上
仕事をするのに		徒然草 (15%)	生物 (27%) 化学 (26%) 日本の歴史 (24%) 代数幾何 (24%) 微積分 (20%)		英語を読める (49%) 評論の本 (44%)	社会のしくみ (58%) 英語を話せる (50%)
市民として	徒然草 (8%) 代数幾何 (8%) 化学 (7%) 微積分 (4%)	生物 (15%)	評論の本 (25%) 英語を読める (23%) 日本の歴史 (22%)	英語を話せる (31%)		社会のしくみ (63%)
良き親として		徒然草 (18%) 代数幾何 (15%) 化学 (15%) 微積分 (13%)	生物 (24%)	評論の本 (33%) 英語を話せる (33%) 英語を読める (31%)	日本の歴史 (40%)	社会のしくみ (64%)

「かなり」「とても」必要な割合

表9 おとなに求められる学力

—あまり必要としないものが多い—

(%)

項目	尺度	不 要		必 要				
		まったく	あまり	やや	小 計	かなり	とても	小 計
英語を読む	仕事をするのに	5.4	14.4	31.0	50.8	26.0	23.2	49.2
	市民として	11.4	24.6	41.1	77.1	15.5	7.4	22.9
	良き親として	10.4	19.1	40.0	69.5	19.9	10.6	30.5
社会のしくみを知る	仕事をするのに	3.2	10.6	27.9	41.7	32.5	25.8	58.3
	市民として	4.7	5.7	26.5	36.9	36.1	27.0	63.1
	良き親として	4.1	6.0	25.7	35.8	35.0	29.2	64.2
徒然草	仕事をするのに	20.0	35.0	30.3	85.3	9.9	4.8	14.7
	市民として	24.8	40.5	26.9	92.2	6.2	1.6	7.8
	良き親として	16.0	28.4	38.0	82.4	12.9	4.7	17.6
微積分	仕事をするのに	30.0	30.6	19.0	79.6	10.0	10.4	20.4
	市民として	37.2	42.4	16.2	95.8	2.0	2.2	4.2
	良き親として	21.9	32.5	33.0	97.4	8.2	4.4	12.6
化学	仕事をするのに	15.6	29.8	29.0	74.4	14.4	11.2	25.6
	市民として	23.8	41.6	28.1	93.5	3.9	2.6	6.5
	良き親として	16.8	27.9	40.4	85.1	9.5	5.4	14.9

○ = 最大値

表10 仕事につくのに必要×学業成績

—成績の良い子は成績の効用を信じている—

(%)

項目	尺度	とても得意	やや得意	やや苦手	かなり苦手	とても苦手
英語の成績	英語を読める	(46.2) >	25.4 >	19.2 >	17.4 >	14.1
	英語を話せる	(45.6) >	28.5 >	20.9 >	15.6	19.3
	化学	(14.6)	10.1	9.5	12.1	10.9
	微積分	(14.7)	8.5	9.0	11.8	9.4
	代数・幾何	(15.8)	9.8	9.2	14.2	12.0
	社会のしくみ	(29.8)	27.1	24.5	22.7	26.6
	評論の本	(22.8)	15.6	15.5	13.4	16.1
	日本の歴史	8.8	8.1	5.4	8.1	(8.9)
	徒然草	4.1	4.4	5.7	3.2	(6.3)
	生物	9.9	10.2	10.3	10.6	(14.1)
数学の成績	化学	(23.6) >	12.5 >	8.6 >	8.4 >	6.5
	微積分	(27.6) >	13.0 >	7.5 >	4.2	5.1
	代数・幾何	(26.1) >	16.2 >	9.5 >	6.1 >	4.6
	生物	(13.4)	8.6	12.2	8.4	12.6
	英語を読める	(33.1)	21.2	22.8	20.3	22.7
	英語を話せる	(28.7)	24.4	26.3	18.8	27.3
	社会のしくみ	26.8	19.9	26.8	26.8	(30.6)
	徒然草	2.5	2.6	3.6	5.4	(10.6)
	評論の本	17.2	13.9	17.0	14.9	(19.0)
	日本の歴史	8.9	5.3	5.3	9.6	(10.7)

とても必要と思う割合 ○ = 最大値 — = 最小値



表11 父と母はどの程度の学力を持っているか

—すこし持っているか、あるいはほとんど持っていない—

(%)

項目	尺度	持っていない		持っている				
		まったく	ほとんど	すこし	小計	かなり	十分	小計
父	英語を話せる	27.2	36.2	24.4	87.8	5.3	6.9	12.2
	英語を読める	25.2	34.5	27.5	85.2	8.4	6.4	14.8
	社会のしくみ	3.6	7.5	25.3	36.4	34.0	29.6	63.6
	日本の歴史	8.3	19.0	37.8	65.1	24.3	10.6	34.9
	微積分	24.4	32.9	27.8	85.1	9.7	5.2	14.9
	代数・幾何	22.0	31.5	29.3	82.8	11.1	6.1	17.2
親	評論の本	10.5	18.9	31.6	61.0	23.5	15.5	39.0
	徒然草	21.7	33.1	31.0	85.8	9.9	4.3	14.2
	化学	16.2	31.0	36.5	83.7	11.4	4.9	16.3
	生物	15.7	28.7	37.2	81.6	12.0	6.4	18.4
母	英語を話せる	31.6	40.8	21.8	94.2	3.9	1.9	5.8
	英語を読める	27.4	40.5	25.0	92.9	5.2	1.9	7.1
	社会のしくみ	7.4	20.0	45.2	72.6	21.2	6.2	27.4
	日本の歴史	13.1	31.3	39.7	84.1	12.6	3.3	15.9
	微積分	38.4	40.5	16.8	95.7	3.0	1.3	4.3
	代数・幾何	34.2	40.4	20.1	94.7	3.7	1.6	5.3
親	評論の本	15.4	30.6	37.4	83.4	11.6	5.0	16.6
	徒然草	22.5	32.7	31.4	86.6	9.6	3.8	13.4
	化学	30.4	42.5	21.1	94.0	4.0	2.0	6.0
	生物	19.8	34.4	34.8	89.0	8.1	2.9	11.0

○ = 最大値

表12 おとなになったら持っているか  
 —すこしくらいは持っているだろう—

(%)

項目		持っていない		持っている				
		まったく	ほとんど	すこし	小計	かなり	十分	小計
英語	話せる	7.1	25.0	47.0	79.1	14.9	6.0	20.9
	読める	4.9	21.6	49.0	75.5	17.9	6.6	24.5
社会	社会のしくみ	3.1	12.5	51.4	67.0	25.2	7.8	33.0
	日本の歴史	7.7	24.5	47.7	79.9	15.7	4.4	20.1
数学	微積分	16.8	37.4	33.9	88.1	8.0	3.9	11.9
	代数・幾何	10.9	30.7	43.4	85.0	10.6	4.4	15.0
国語	評論の本	8.2	24.5	46.4	79.1	16.1	4.8	20.9
	徒然草	10.3	33.4	43.2	86.9	10.0	3.1	13.1
理科	化学	11.9	33.4	42.1	87.4	8.8	3.8	12.6
	生物	7.8	28.8	47.3	83.9	11.5	4.6	16.1

○ = 最大値

## 第II章 学業成績の重み



### 学業成績と進路

これまでふれてきたように、高校生たちはがんばる力はむろんのこと、学業成績の良さを、おとなになるために必要と考えているように思えた。

そこで、実際に、成績の良し悪しが、生徒たちの現在、そして、未来に、どのような意味を持っているのかを調べることにしよう。なお、ここでは便宜上、学業成績をとらえる尺度として、以下の5つのカテゴリーを設定してある。

	(英語)	(数学)
得意	ととも 4.6	4.1
	かなり 8.8	8.2
	やや 23.2% ……②	23.8%
苦手	やや 28.9% ……③	26.5%
	かなり 19.4% ……④	20.5%
	ととも 15.0% ……⑤	16.9%

学業成績の尺度を考える時、小・中学生の場合、数学を利用することが多い。しかし、

高校生の場合、数学の得意・不得意は、文科系と理科系というような進路を意味すると思われるので、以下の分析では、文科、理科に共通する教科という意味で、英語の得意・不得意に着目して成績の良し悪しの尺度とすることにした。

表13は、成績の良し悪しと高校卒業後の進路見通しとの関連を示しているが、当然のことながら、勉強の得意な生徒ほど、むずかしい大学への入学見通しを抱いている。そして図1（表14）の結果でも、そうした見通しは一浪した場合でも成績の良い生徒ほど強いのがわかる。

しかし、考えてみれば、学業成績は、とりあえず、大学進学と結びつくから、こうした結果が得られるのは、むしろ、予想通りであ

ろう。そこで、大学へ進学してから後の生活を追うことにしたい。

生徒たちの全体としての見通しは図2の通りで、「もしかしたら」を含めると、明るい未来像となるが、「きっと」「たぶん」に限定すると、「そうなれそう」と思う割合は3割前後となる。したがって、「もしかしたら」の評価にもよるが、将来の見通しは、かならずしも明るくない。そうした中で「趣味の豊かな生活」や「良い子どもに恵まれ、しあわせな家庭をつくる」、「好きな理想的な相手とめぐりあえて結婚できる」など、家庭生活や私生活の面で、なんとかなりそうと思っている生徒が多いのが目につく。

そこで、そうした見通しが、学業成績によって、どれくらい異なるのかを示すと、表

表13 どんな進路を考えているか×学業成績

—勉強の得意な生徒はむずかしい大学へ—

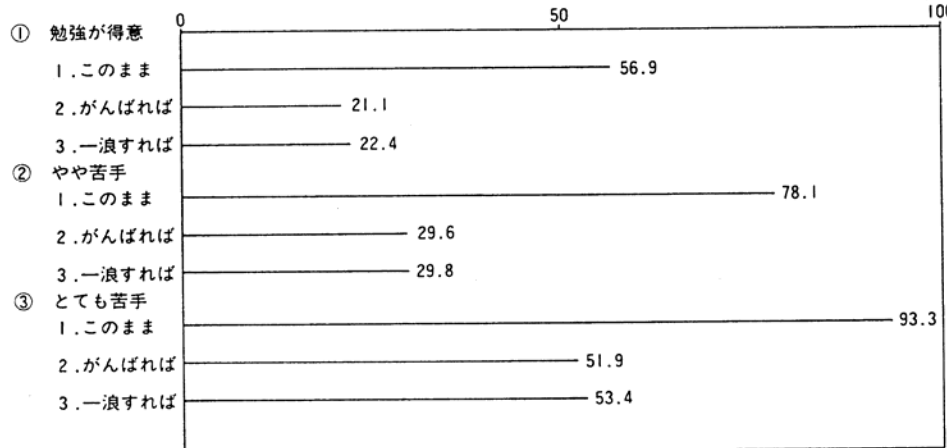
(%)

項目	尺 度		得 意			苦 手			全 体
	ととも	やや	やや	かなり	ととも	やや	かなり		
むずかしい大学へ入る	32.3	>	15.6	>	13.4	>	10.3	13.4	15.8
適当な大学へ入る	60.5		67.1		70.1		74.1	60.2	67.4
短大へ入る	0.6		7.8		5.8		7.4	10.2	6.5
そ の 他	6.6		9.5		10.7		8.2	16.2	10.3

図1 むずかしい大学への入学

—がんばればなんとかなるかも—

(%)



入学はとても無理と思う割合

表14 むずかしい大学への入学見通し

(%)

項目	尺度	入 れ る		無 理		
		き っ と	な ん と か	や や	か な り	と て も
このままいったら	得 意	6.5	2.4	17.1	17.1	56.9
	やや得意	2.0	2.0	6.1	14.6	75.3
	やや苦手	1.1	1.4	6.0	13.4	78.1
	かなり苦手	1.6	0.0	2.8	6.5	89.1
	とても苦手	2.6	0.5	2.6	1.0	93.3
	全 体	2.4	1.3	6.4	10.9	79.0
一生けんめいやったら	得 意	13.5	26.8	21.1	17.5	21.1
	やや得意	5.8	15.3	24.4	30.1	24.4
	やや苦手	3.8	15.1	21.9	29.6	29.6
	かなり苦手	3.6	10.1	17.4	34.0	34.9
	とても苦手	6.8	2.6	11.5	27.2	51.9
	全 体	6.0	13.9	19.9	28.6	31.6
一浪してねばったら	得 意	20.6	26.4	20.6	10.0	22.4
	やや得意	7.5	22.4	27.3	18.0	24.8
	やや苦手	7.1	19.4	24.3	19.4	29.8
	かなり苦手	4.9	15.0	22.4	20.7	37.0
	とても苦手	6.3	8.9	17.8	13.6	53.4
	全 体	8.5	18.6	23.1	17.2	32.6

図2 将来への見通し

——家庭生活ではしあわせになれるそう——

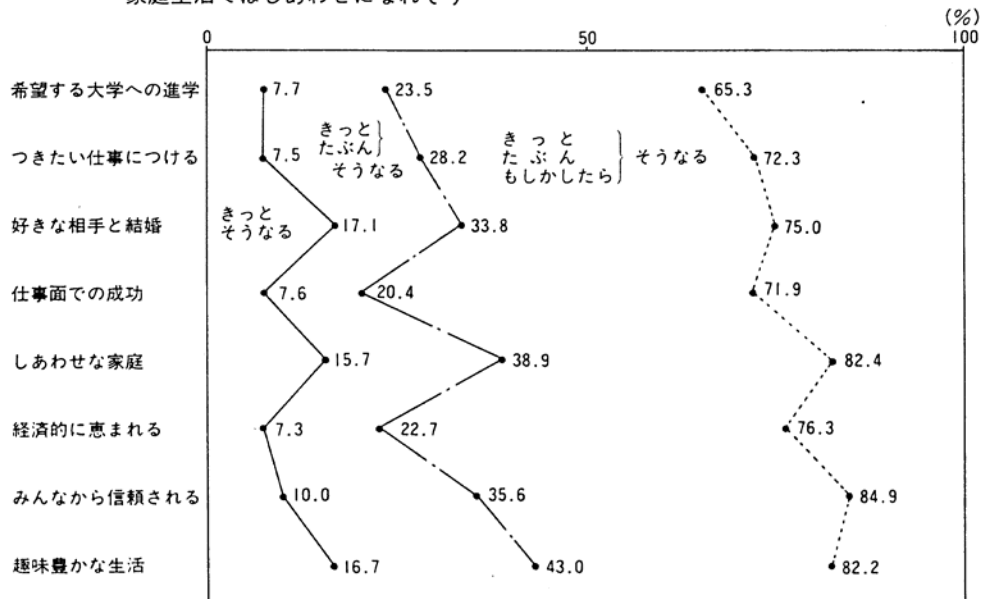


表15 将来への見通し×学業成績

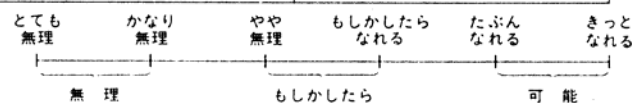
(%)

項目		無理だろう			そうなれる		
		とても	かなり	やや	もしかしたら	たぶん	きっと
希望する大学へ入れる	得意	4.7	4.1	3.5	42.0	28.7	17.0
	やや得意	4.4	8.8	13.9	46.0	21.1	5.8
	やや苦手	4.9	14.2	15.0	44.1	16.1	5.7
	かなり苦手	4.5	19.4	18.6	42.5	9.3	5.7
	とても苦手	26.7	18.2	13.4	29.4	3.2	9.1
仕事の面で成功する	得意	2.3	2.9	9.4	52.1	18.7	14.6
	やや得意	2.0	5.4	19.0	53.5	13.6	6.5
	やや苦手	1.6	4.6	18.3	57.2	12.3	6.0
	かなり苦手	2.0	9.3	20.3	52.5	10.6	5.3
	とても苦手	15.0	9.6	20.9	35.8	9.6	9.1
しあわせな家庭をつくれる	得意	4.1	4.1	4.7	34.7	30.6	21.8
	やや得意	2.4	3.8	11.0	45.1	20.9	16.8
	やや苦手	5.2	2.2	6.3	48.4	26.2	11.7
	かなり苦手	2.4	4.0	11.7	45.8	21.9	14.2
	とても苦手	13.4	5.9	10.2	35.5	16.7	18.3

表16 将来への見通し×学業成績

(%)

	希望する大学			つきたい仕事			好きな相手と結婚したい		
	無理	もしかしたら	可能	無理	もしかしたら	可能	無理	もしかしたら	可能
得意	8.8	45.6	45.6	5.3	47.0	47.7	9.4	43.3	47.3
やや得意	13.2	59.9	26.9	10.5	63.3	26.2	9.6	58.3	32.1
やや苦手	19.1	59.1	21.8	10.7	62.2	27.1	8.5	58.8	32.7
かなり苦手	23.9	61.1	15.0	15.7	60.1	24.2	13.0	56.3	30.7
とても苦手	44.9	42.8	12.3	30.0	48.6	21.4	27.9	42.2	29.9
	経済的に豊か			人々から信頼される			趣味豊かな生活		
	無理	もしかしたら	可能	無理	もしかしたら	可能	無理	もしかしたら	可能
得意	6.4	55.9	37.7	4.6	48.7	46.7	4.1	39.2	56.7
やや得意	7.2	70.6	22.2	4.1	59.5	36.4	4.4	51.1	44.5
やや苦手	5.7	73.3	21.0	4.3	66.1	29.6	4.0	55.6	40.4
かなり苦手	8.1	72.4	19.5	5.2	58.4	36.4	6.0	53.9	40.1
とても苦手	22.3	60.1	17.6	13.3	51.6	35.1	15.6	47.5	36.9



15となる。さらに、反応の中から

- とても・かなり無理——①無理
- やや無理
- もしかしたらそうなる } ②もしかしたら
- きっと・たぶんできる——③可能

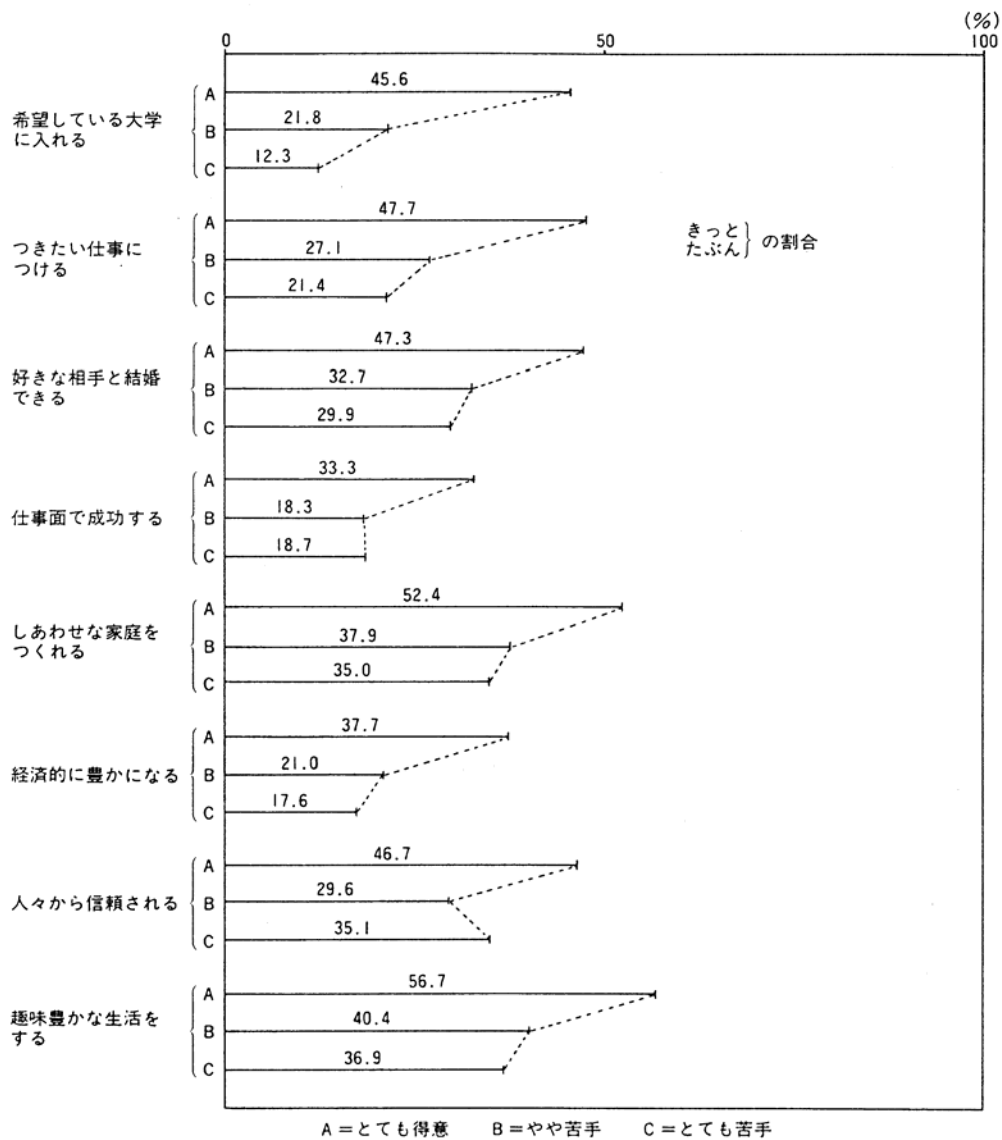
のように3分し、成績との関連をまとめたのが、表16で、これを、図化すると、図3の通りとなる。

成績の上位の生徒ほど、希望している大学

へ入れる。そして、その結果として、つきたい仕事につけそうだと思う割合が増加するのは、すでに述べた通り、ある程度まで納得できる。しかし、成績の良い生徒たちは勉強のふるわない生徒より、その他でも好きな相手と結婚できそうだと、あるいは、趣味の豊かな生活を送れそうだと思う割合が高まっているのである。

図3 将来の見通し×学業成績

——成績の良い生徒は明るい見通しを持つ——



## 自己像との関連の中で

もちろん、成績の良さが、ただちに、好きな相手との結婚に結びつくわけはあるまい。そうした意味では、図3は、成績の良い生徒たちが、仕事面での達成はむろんのこと、家庭生活の面でもしあわせになれそうだと思っている。つまり、明るい見通しを抱き、その結果として、自分に自信を持っていることが、好きな相手との結婚に結びついたと考えるのが妥当な評価であろう。

実際にも、生徒たちは、「仮に、成績が良くなることがあったら、どこが変わるか」の問いに、なによりも「希望する大学へ入れるようになる」、そして「つきたい仕事につけるようになる」と答えている。さらに、その他の面でも、成績が良くなれば、見通しが明るくなるかもしれないと考えている(表17)。

こう見てくると、高校生にとっても、成績の良さが、将来、そして、現在についても、自己像の明るさをもたらしているように思えるが、それを、データ面で裏づけると、表18以下のようになる。

表18は、生徒たちの自己像を尋ねたものだが、全体として、高校生としては、元気でおもしろく、人間的にやさしいという自己イメージを持っている者が多い。そこで、これらの結果を、学業成績別に集計し直すと、図4(表19)となる。

		勉強の 得意な群 (A)	苦手な群 (B)	差	(B)/(A)
1	元気な	51%	45%	6%	0.88
2	おもしろい	36%	33%	3%	0.92
3	やさしい	38%	27%	11%	0.71
4	まじめ	35%	18%	17%	0.51
5	きちんとした	31%	20%	11%	0.65
6	ねばり強い	34%	12%	22%	0.35
7	都会的な	23%	16%	7%	0.70
8	頼もしい	20%	17%	3%	0.85
9	シャレた	16%	16%	0%	1.00
10	ナウい	19%	15%	4%	0.79

(とても・かなり、そう思う割合)

したがって、高校生として、シャレている、あるいは、おもしろい、元気がいいなどの面では、成績の良し悪しは、ほとんど関係を示していない。しかし、ねばり強さやまじめさ、きちんとしたなどの面は、成績の良し悪しを反映している。つまり、勉強の得意な生徒は、ねばり強く、まじめで、きちんとしたという自己像を抱いている。

冒頭の表2でふれた通り、生徒たちは、社会生活を送るのに、がんばる態度が必要だと答えていた。そして、成績の良い生徒たちはそうしたねばり強さに自信を抱いている。毎日、まじめにじみな勉強を重ねている態度が、ねばり強い自分という自己像をもたらすのであろう。



表17 成績が良くなったらどこが変わるか

—大学に進学でき、つきたい仕事につける—

(%)

項目	尺度	そうなれる		もしかしたら そうなる	無理だろう		
		きっと	たぶん		やや	かなり	とても
希望する大学への進学		42.2	36.2	15.1	3.4	1.3	1.8
		78.4			6.5		
つきたい仕事につける		32.8	34.6	24.1	4.6	2.0	1.9
		67.4			8.5		
仕事面での成功		18.7	27.0	40.6	8.8	2.1	2.8
		45.7			13.7		
趣味の豊かな生活		16.4	22.1	41.5	11.9	2.9	5.2
		38.5			20.0		
好きな相手と結婚		14.1	15.4	42.1	14.8	5.5	8.1
		29.5			28.4		
経済的に豊かな生活		13.6	27.1	43.2	9.8	2.4	3.9
		40.7			16.1		
しあわせな家庭		12.1	18.9	45.4	11.9	4.2	7.5
		31.0			23.6		
人々から信頼される		10.2	22.1	47.6	12.0	3.2	4.9
		32.3			20.1		

○=最大値

表18 生徒たちの自己像

—元気でおもしろい生徒のつもり—

(%)

項目	尺度	そ う			ち が う					
		とても	かなり	小 計	やや	やや	小 計	かなり	まったく	小 計
元気な		19.4	23.5	42.9	33.2	14.8	48.0	5.1	4.0	9.1
おもしろい		10.3	20.4	30.7	41.4	19.9	61.3	4.7	3.3	8.0
やさしい		8.4	21.0	29.4	48.3	15.5	63.8	4.2	2.6	6.8
まじめ		7.6	13.6	21.2	40.9	22.7	63.6	8.9	6.3	15.2
きちんとした		6.5	13.1	19.6	42.6	22.8	65.4	9.1	5.9	15.0
ねばり強い		5.4	11.7	17.1	33.1	29.3	62.4	13.0	7.5	20.5
都会的な		6.7	8.3	15.0	28.5	33.7	62.2	12.8	10.0	22.8
頼もしい		5.7	8.3	14.0	32.7	33.3	66.0	12.0	8.0	20.0
シャレた		5.9	6.3	12.2	27.2	35.5	62.7	14.4	10.7	25.1
ナウい		6.0	5.0	11.0	21.2	37.7	58.9	16.7	13.4	30.1

○=最大値

図4 自己像×学業成績

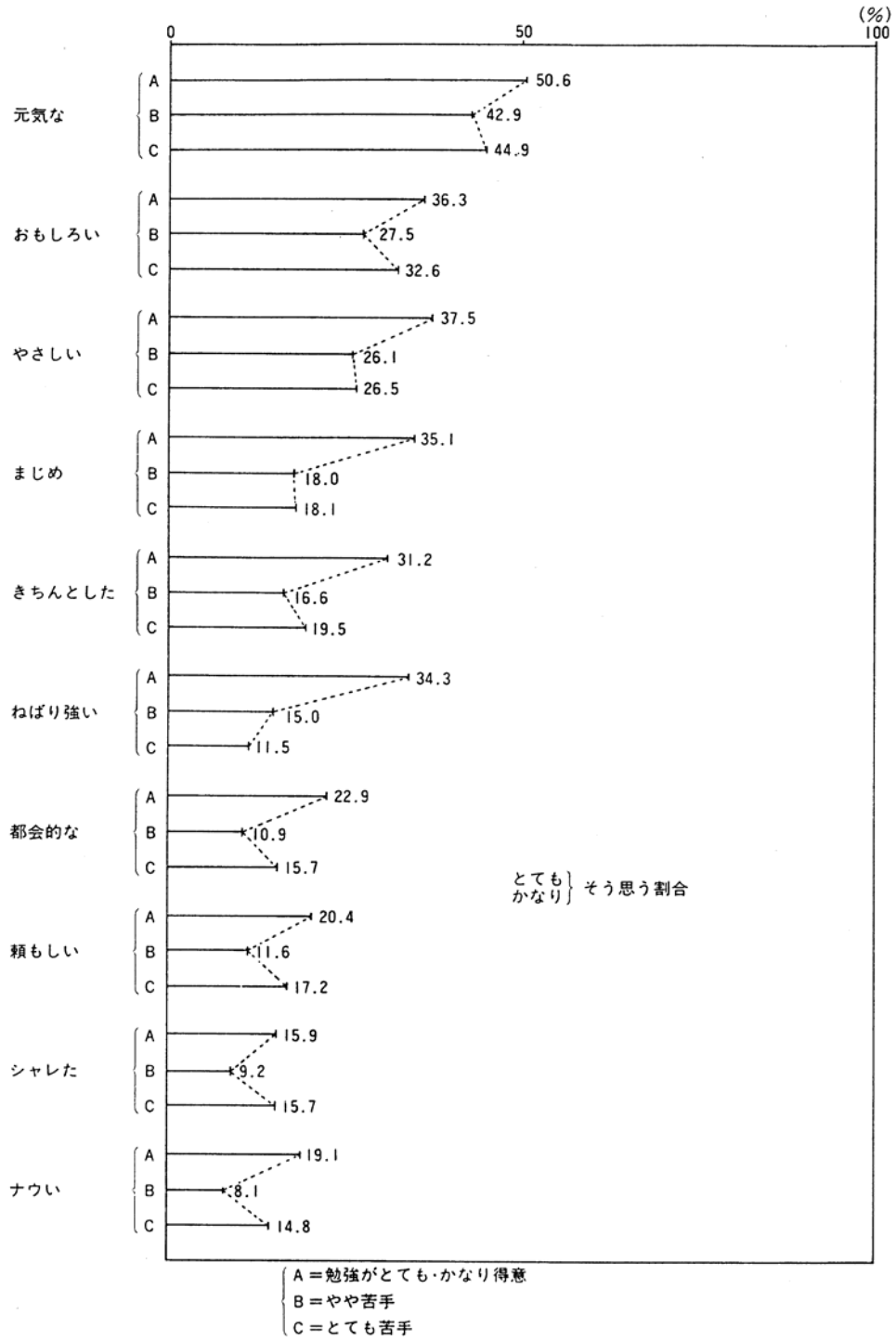


表19 自己像×学業成績

(%)

項目	得意			やや苦手			とても苦手		
	とても かなり そう	ややそう ややちがう	まったく かなり ちがう	とても かなり そう	ややそう ややちがう	まったく かなり ちがう	とても かなり そう	ややそう ややちがう	まったく かなり ちがう
元気な	50.6	43.0	6.4	42.9	50.3	6.8	44.9	39.8	15.3
おもしろい	36.3	56.7	7.0	27.5	67.7	4.8	32.6	53.0	14.4
やさしい	37.5	57.4	5.1	26.1	69.7	4.2	26.5	58.1	15.4
まじめ	35.1	53.4	11.5	18.0	73.8	8.2	18.1	52.7	29.2
きちんとした	31.2	56.1	12.7	16.6	74.2	9.2	19.5	51.4	30.1
ねばり強い	34.3	52.9	12.8	15.0	67.3	17.7	11.5	51.0	37.5
都会的な	22.9	57.4	19.7	10.9	71.0	18.1	15.7	49.6	34.7
頼もしい	20.4	64.4	15.2	11.6	72.4	16.0	17.2	50.3	32.5
シャレた	15.9	61.8	22.3	9.2	68.3	22.5	15.7	49.1	35.2
ナウい	19.1	55.5	25.4	8.1	66.4	25.5	14.8	44.0	41.2

## 第III章 学業成績の背景



### できる子、できない子のイメージ

今までふれてきたように、成績の良し悪しはねばり強さやまじめさを媒介として生徒たちの自己評価に強い影響を与えていた。その中でも、特に、成績の良い生徒が、がんばれる自分というイメージを抱き、そうであるから、未来も明るいとして将来に希望を持つ傾向が強いのが顕著であった。

つまり、成績の良し悪しは学習努力を反映するという見方である。そこで、現実問題として、勉強が得意＝努力型、勉強が苦手＝怠け者のパターンが存在するのかどうかを確かめることにしよう。

表20は、勉強の得意な生徒と苦手な生徒を思いうかべさせ、そうした生徒が、どの程度、

勉強しているのかを推定させたものだが、生徒たちは、勉強の得意な生徒は、苦手な生徒より、平日で2時間40分、日曜日は3時間以上も長く勉強していると評価している。つまり、勉強に費やしている時間からいっても、勉強の苦手な生徒は怠けているという見方である。

そこで、勉強の得意な生徒と苦手な生徒とが、どんなタイプなのかを推定させると、図5(表21)のような結果が得られる。

図5の意味は一目で明らかであろう。勉強の得意な生徒は、がんばる力があり、先生や親から信頼されるまじめなタイプだという。それに対し、勉強の苦手な生徒はがんばる力に欠け、人から信頼されず、まじめさにも乏

しいというのである。となると、勉強のできる生徒は、成績が良いから望みの大学への進学見通しが強まり、つきたい仕事につけそうだけでなく、まじめでがんばるタイプという評価ももらえるので、学力優秀とともに人物も良いという見方も手に入れることができることにもなる。それはよいのだが、勉強の苦手な生徒はがんばる力に欠け、先生から信頼されないタイプとなる。

もっとも、表22によると、勉強が苦手なのは、授業を熱心に聞かず、家庭でも勉強せずに怠けているからだとは思う。しかし、もと

もと、勉強が苦手だったような気持ちもする。したがって、怠けていることだけが学業不振の原因とはいえないのかもしれないと生徒たちも感じている。

そうはいつでも、どうすれば、成績が上がるかとなると、表23の通り、予備校へ通ったり、良い参考書を利用したりするのも良い。しかし、それ以上に大事なものは、まじめに授業を聞き、予習や復習の時間をふやすことだと生徒たちは考えている。つまり、やはりまじめでがんばるタイプの生徒になることが、良い成績へ通ずるという見方でもある。

表20 勉強の得意な生徒と苦手な生徒

—— 苦手な子は勉強をしていない ——

		勉強の得意な生徒	勉強の苦手な生徒
平日の勉強時間		3時間40分	1時間0分
日曜日の勉強時間		5時間0分	2時間0分
予備校	熱心に通う	47.3 (%)	2.8 (%)
	まあまあ通う	4.6	19.7
	通うが怠けがち	1.0	22.4
	通っていない	47.1	55.1
		5.6	42.1

図5 勉強の得意な生徒・苦手な生徒のイメージ

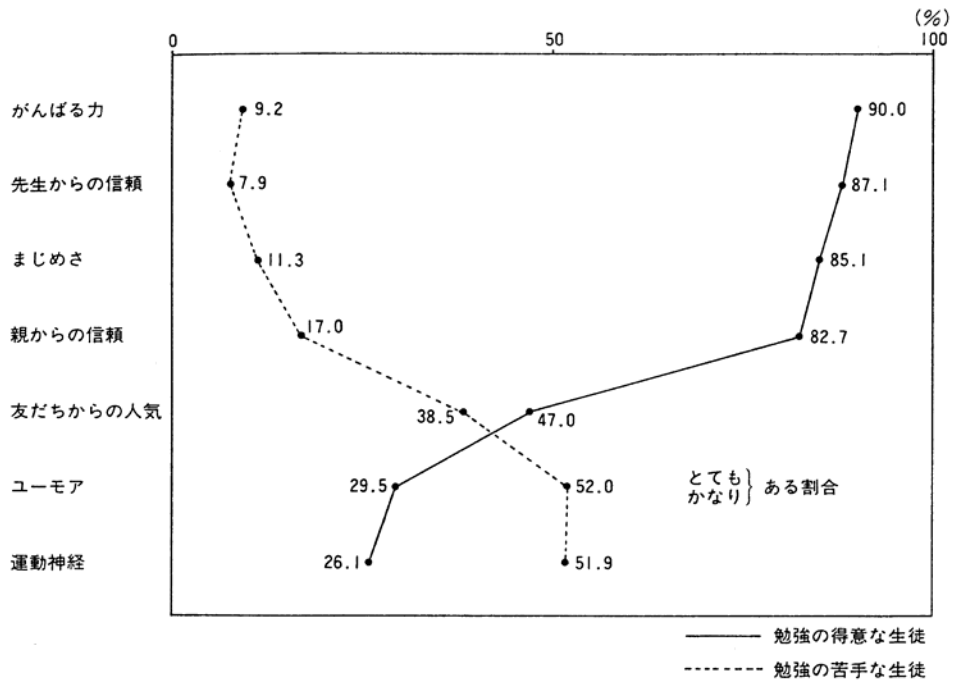


表21 勉強の得意な生徒・苦手な生徒のイメージ

——がんばる力やまじめさに開き——

項目	勉強の得意な生徒					勉強の苦手な生徒				
	あ る			な い		あ る			な い	
	とても	かなり	や や	あまり	まったく	とても	かなり	や や	あまり	まったく
がんばる力	44.3	45.7	7.8	1.0	1.2	3.2	6.0	34.6	49.1	7.1
先生からの信頼	41.4	45.7	10.4	1.4	1.1	2.7	5.2	39.4	43.8	8.9
まじめさ	40.1	45.1	11.9	1.4	1.5	3.3	8.0	39.4	41.4	7.9
親からの信頼	34.7	48.0	15.0	1.0	1.3	3.7	13.3	48.8	29.3	4.9
友だちからの人気	13.4	33.6	41.3	8.7	3.0	8.9	29.6	45.5	12.5	3.5
ユーモア	8.8	20.7	43.5	21.6	5.4	14.4	37.6	37.2	8.3	2.5
運動神経	7.6	18.5	42.2	23.5	8.2	16.0	35.9	35.5	8.4	4.2

○ = 最大値

表22 数学の苦手な理由

——もともと苦手だったし、それに怠けているから——

(%)

		そ う 思 う			そ う 思 わ な い	
		と っ ち	か な り	少 し	あ ま り	ま っ た く
家庭で勉強せずに遊んでいるから	とても得意	20.1	29.6	32.0	14.2	4.1
	やや得意	12.2	32.1	37.8	14.2	3.7
	やや苦手	18.7	23.8	40.7	13.8	3.0
	かなり苦手	19.4	21.9	33.2	21.9	3.6
	とても苦手	31.1	16.8	27.9	14.7	9.5
	全 体	19.4	25.1	35.5	15.7	4.4
授業を聞かずによそ見しているから	とても得意	14.8	30.8	32.0	17.8	4.7
	やや得意	13.9	28.0	40.2	12.5	5.4
	やや苦手	17.3	22.5	41.5	16.0	2.7
	かなり苦手	17.4	25.9	33.6	20.2	2.8
	とても苦手	28.4	24.2	25.3	15.3	6.8
	全 体	17.9	25.7	36.1	16.1	4.2
もともと数学が苦手だから	とても得意	19.5	24.3	28.4	17.8	10.1
	やや苦手	14.9	22.5	32.8	23.0	6.8
	とても苦手	24.2	21.1	23.7	16.3	14.7
	全 体	17.0	23.5	29.8	19.5	10.2
無理な勉強をしているから	とても得意	17.2	29.6	30.8	17.2	5.3
	やや苦手	16.5	30.4	32.2	16.3	4.6
	とても苦手	24.7	21.6	30.0	12.6	11.1
	全 体	16.5	28.0	33.1	16.6	5.8

○=最大値

表23 どうすれば成績が上がるか

—まじめに授業を聞き、予習復習をしっかり—

(%)

		効果がある			効果はない	
		とても	かなり	やや	あまり	ぜんぜん
勉強のしかたを工夫する		18.7	48.2	28.3	2.5	2.3
		66.9			4.8	
まじめに授業をきく		29.4	43.4	20.5	4.1	2.6
		72.8			6.7	
予習復習の時間をふやす		36.8	41.6	16.9	2.0	2.7
		78.4			4.7	
予備校へ通う		6.8	23.9	41.6	21.0	6.7
		30.7			27.7	
良い参考書を使う		7.0	23.5	47.3	17.3	4.9
		30.5			22.2	
まじめに授業を聞く	得意	25.9	49.4	16.5	4.7	3.5
	やや得意	28.4	45.0	20.9	4.3	1.4
	やや苦手	29.8	43.4	21.1	4.1	1.6
	かなり苦手	29.1	41.3	24.3	4.5	0.8
	とても苦手	34.0	36.1	17.8	4.2	7.9
予習復習の時間をふやす	得意	37.3	41.9	14.2	3.0	3.6
	やや得意	39.2	40.5	16.6	2.7	1.0
	やや苦手	34.7	43.1	17.9	1.9	2.4
	かなり苦手	36.0	44.6	17.0	1.6	0.8
	とても苦手	37.2	35.6	18.3	1.0	7.9

○ = 最大値



## 勉強の得意な生徒は努力家なのか

しかし、今までの考察は、あくまで、成績の良い生徒、苦手な生徒のイメージであって、実際に、成績の良い生徒が努力しており、それとは反対に、不振ぎみの生徒が怠けているのかどうかは明らかでない。

そこで、学業成績別に、勉強時間を調べると、表24となる。この表の中から、平日の勉強時間に着目して集計すると

	3時間以上 勉強している者 の割合	平均の 勉強時間
1 勉強が得意	50.6%	3時間9分
2 やや得意	35.5%	2時間22分
3 やや苦手	28.0%	1時間53分
4 かなり苦手	33.3%	1時間58分
5 とても苦手	20.9%	1時間24分

の通りである。したがって、統計的にみても、勉強の得意な生徒が、より長く机の前にすわっているのは確かなようにみえる。

さらに、図6（表25）でも、成績の良い生徒の方が、授業をまじめに聞いている割合が高く、予習・復習をきちんとしている結果があらわれている。

つまり、勉強の得意な生徒は、先ほど紹介

したイメージほどでないにしても、確かに、勉強を苦手とする生徒より、勉強時間が長く、そして、授業をまじめに聞き、しっかりと予習や復習をしている割合が大きい。

高校生の本分ともいえるべき勉強に全力を傾けている。その結果として、勉強の得意な生徒の自己像は明るさを持ち始める。表26に、高校生の自己像を掲げたが、全体として明るい自己像の中で、勉強に関する項目、つまり、「まじめに勉強し、成績が良い」の面で、自信を持ってない生徒が多いのが注目をひく。

そこで、そうした自己評価と学業成績との関係を調べたのが表27だが、その中から「とても」「かなり」持っているに着目して、その割合を、成績別にまとめたのが、表28である。さらに、がんばる力や友からの信頼を、成績階層ごとに、図7、図8に示した。

いずれにせよ、表28のように、勉強の得意な生徒は、がんばりぬく力があって、まじめに勉強しているだけでなく、友からの信頼や人間的なやさしさなどの面でもそれらを持っているというような自信を抱いている。それに対し、勉強の苦手な生徒は、表中のアンダーラインが示すように、すべての項目で自信を欠き、暗い自己像を抱いている。

表24 勉強時間×学業成績

—得意な生徒の方が勉強している—

(%)

		1時間以内	1～2時間	2時間半	3時間	4時間以上
平日	得意	20.5	17.1	11.8	25.9	24.7
	やや得意	19.6	26.7	18.2	25.7	9.8
	やや苦手	18.7	37.5	15.8	20.4	7.6
	かなり苦手	19.2	32.9	14.6	24.8	8.5
	とても苦手	38.8	31.4	8.9	14.1	6.8
	全体	22.1	30.5	14.6	22.3	10.5
日曜日	得意	10.0	11.2	9.5	17.2	52.1
	やや得意	10.8	19.3	6.1	24.3	39.5
	やや苦手	12.5	18.5	7.6	23.9	37.5
	かなり苦手	14.2	14.3	8.9	26.0	36.6
	とても苦手	24.3	24.2	6.8	20.5	24.2
	全体	14.0	17.7	7.6	23.0	37.7

図6 学習態度×学業成績

—まじめに授業を聞き、予習復習をしている—

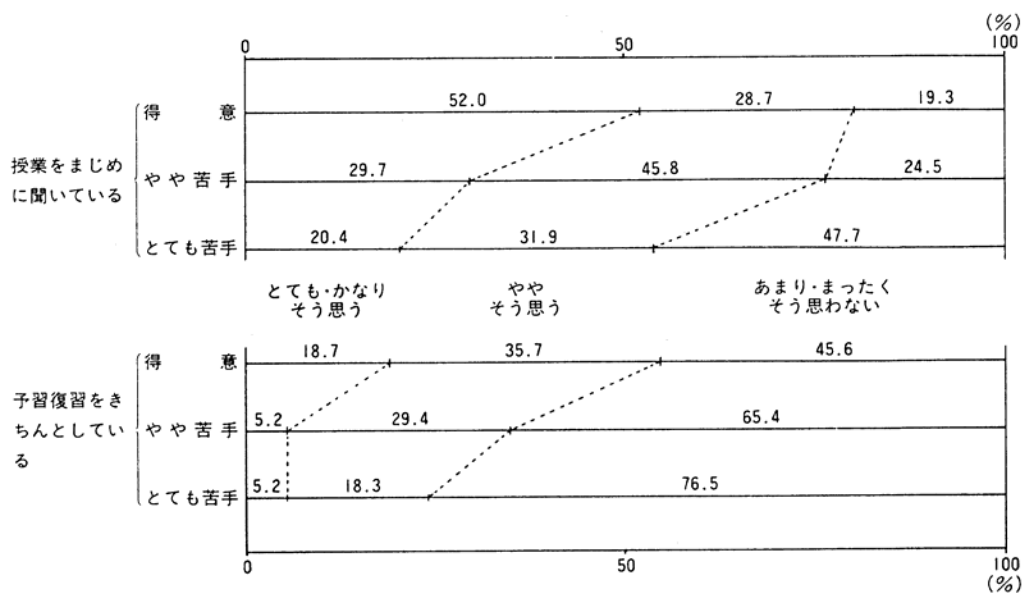


表25 学習態度×学業成績

(%)

項目	尺度	そう思う			や や そう思う	そう思わない		
		とても	かなり	小 計		あまり	まったく	小 計
授業をまじめに聞く	とても得意	17.0	35.0	52.0	28.7	15.2	4.1	19.3
	やや得意	8.4	28.0	36.4	41.0	19.6	3.0	22.6
	やや苦手	7.1	22.6	29.7	45.8	21.5	3.0	24.5
	かなり苦手	2.8	25.0	27.8	43.2	26.2	2.8	29.0
	とても苦手	5.2	15.2	20.4	32.0	31.9	15.7	47.6
	全 体	7.6	24.9	32.5	39.8	22.7	5.0	27.7
予習復習をきちんとする	とても得意	8.2	10.5	18.7	35.7	33.9	11.7	45.6
	やや得意	2.4	12.9	15.3	32.9	42.0	9.8	51.8
	やや苦手	1.1	4.1	5.2	29.4	50.4	15.0	65.4
	かなり苦手	0.8	3.6	4.4	34.3	46.0	15.3	61.3
	とても苦手	2.1	3.1	5.2	18.3	41.9	34.6	76.5
	全 体	2.4	6.8	9.2	30.3	44.1	16.4	60.5
勉強のしかたを工夫	とても得意	7.0	13.5	20.5	24.0	46.1	9.4	55.5
	やや得意	2.0	6.8	8.8	28.9	52.4	9.9	62.3
	やや苦手	2.2	5.4	7.6	21.3	55.6	15.5	71.1
	かなり苦手	0.8	2.4	3.2	17.8	62.0	17.0	79.0
	とても苦手	2.6	2.6	5.2	11.0	44.0	39.8	83.8
	全 体	2.6	5.8	8.4	21.2	53.1	17.3	70.4

表26 高校生の自己像

—勉強に自信を持ってない—

(%)

項目	尺度	持っている			持っていない	
		とても	かなり	や や	あまり	まったく
音楽などの趣味が豊か		10.7	20.5	38.7	25.2	4.9
		31.2			30.1	
スポーツが得意		6.2	16.4	33.6	31.9	11.9
		22.6			43.8	
人間的にやさしく親切		4.2	21.6	53.1	17.4	3.7
		25.8			21.1	
友からの信頼		3.3	17.2	56.3	19.3	3.9
		20.5			23.2	
がんばりぬぐ力		2.6	13.9	43.0	35.0	5.5
		16.5			40.5	
まじめに勉強		2.8	6.9	32.2	46.0	12.1
		9.7			58.1	
成績優秀		1.8	5.2	31.7	46.4	14.9
		7.0			61.3	

○=最大値

表27 自己評価×学業成績

(%)

		持っていない		持っている		
		まったく	あまり	やや	かなり	とても
がんばりぬく力	得意	2.3	24.6	42.7	26.9	3.5
	やや得意	3.7	31.2	46.1	16.3	2.7
	やや苦手	4.1	37.2	44.8	11.7	2.2
	かなり苦手	4.8	37.5	44.0	11.3	2.4
	とても苦手	13.5	42.7	34.9	6.3	2.6
まじめに勉強	得意	5.3	33.7	38.5	16.6	5.9
	やや得意	8.1	47.1	34.9	6.8	3.1
	やや苦手	10.4	48.2	33.4	5.5	2.5
	かなり苦手	9.3	50.9	32.5	5.7	1.6
	とても苦手	30.9	44.0	19.9	3.1	2.1
友からの信頼	得意	2.4	8.3	59.7	24.3	5.3
	やや得意	3.8	16.4	58.3	18.1	3.4
	やや苦手	1.9	20.8	59.0	16.1	2.2
	かなり苦手	1.6	23.4	54.1	17.3	3.6
	とても苦手	10.5	25.7	49.2	11.5	3.1
人間的なやさしさ	得意	1.2	13.5	54.3	25.7	5.3
	やや得意	3.4	17.3	50.5	24.1	4.7
	やや苦手	2.7	17.8	57.7	18.0	3.8
	かなり苦手	1.6	15.8	55.5	23.1	4.0
	とても苦手	9.4	22.9	46.4	18.2	3.1

表28 自己評価×学業成績

— 勉強の得意な生徒の自己像は明るい —

(%)

項目	尺度	得意		苦手		
		とても	やや	やや	かなり	とても
がんばりぬく力		30.4	> 19.0	> 13.9	> 13.7	> 8.9
まじめに勉強		22.5	> 9.9	> 8.0	> 7.3	> 5.2
友からの信頼		29.6	> 21.5	> 18.3	20.9	> 14.6
人間的なやさしさ		31.0	> 28.8	> 21.8	27.1	> 21.3
趣味が豊か		41.7	> 33.6	> 33.1	> 27.1	> 19.4
スポーツが得意		27.5	> 21.6	> 20.4	25.5	> 19.8

○ = 最大値  
 — = 最小値

図7 がんばる力×学業成績

—成績の良い生徒はがんばれると思っている—

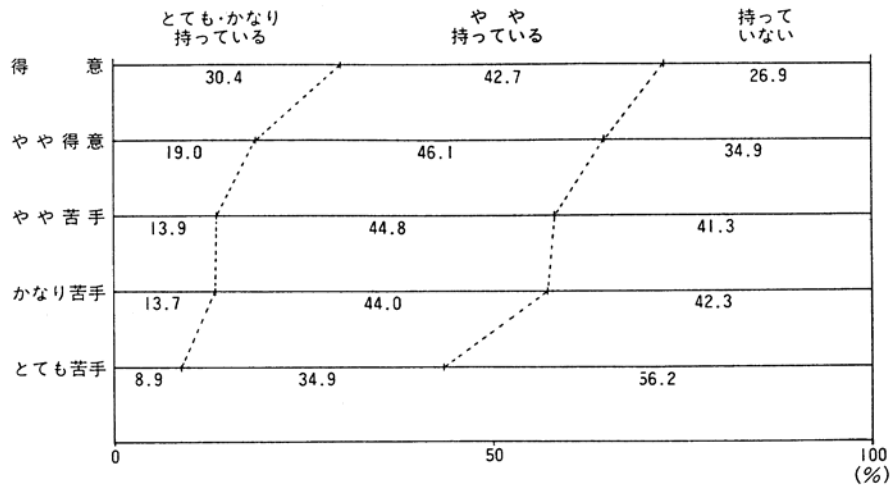
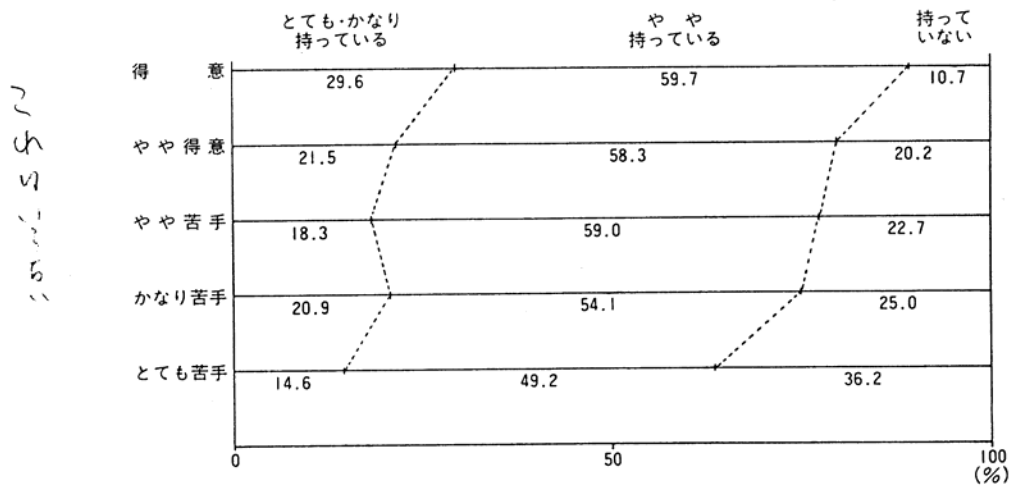
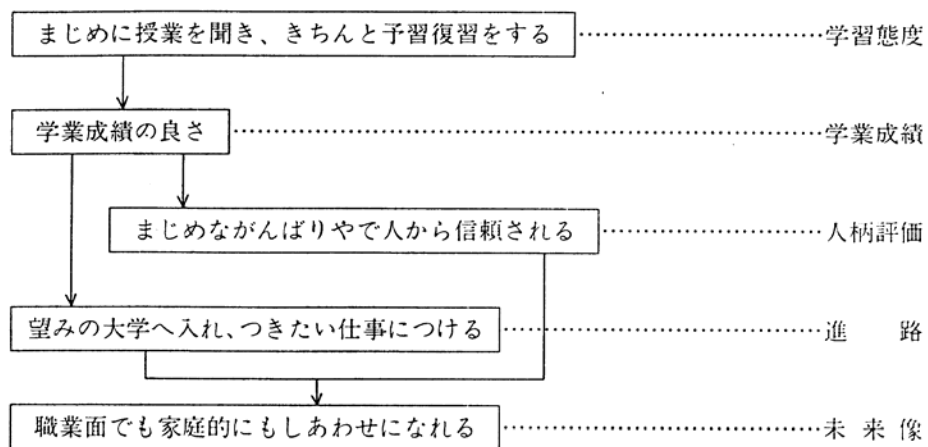


図8 友だちからの信頼×学業成績



# まとめに代えて

これまでふれてきた内容を要約してみよう。



学業成績の良さは、進学や就職といった進路面で明るい見通しをもたらすだけでなく、まじめな努力家というレッテルをはってもらえるので、人間的にも良い評価を得るのに役立つ。したがって、成績の良い生徒は自信を持って、望みの大学へ進学できる結果となる。こうした側面は本レポートでもふれたように、データの面でも、かなりの真理を含んでいる。それに対し、学業不振の生徒は、望みの進路に進めないだけでなく、学習努力が報いられないので努力の不足ぎみな、つまり怠け者の自分という自己イメージを抱くことになる。しかし、生徒たちの中には、努力を重ねて

もそれがただちに学習成果と結びつくといいたいがたい場合もあろう。したがって、「学業不振＝怠け」とみるのは妥当であるまい。考えてみれば、学習は、成果を離れて、一生懸命に努力している、そのこと自体で、意味を持ちうるのではないか。

特に、現代のように、多様な生き方が可能になってくると、大学進学だけがすべてではあるまい。それだけに、努力を努力として認める態度があって良いのではないか。データを読みとりながら、そうした気持ちを強く抱いた。

① はじめに学校名などを書いてください。 (数字は%)

① 学 校 名 ( ) 高 校

② 学 年 { 2年 74.7  
3年 25.3

③ 性 別 (男 ・ 女) <○をつける>  
53.1 46.9

② 高校生として、①~⑦のようなことは、あなたがおとなになって生活していくのに、どれくらい必要だと思いますか。

1) (あなたがつきたいと思っている)仕事につき、仕事をやりとげていくのに。

	まったく 不要	かなり 不要	やや 必要	かなり 必要	とても 必要
① がんばりぬく力がある……………	1.3	1.6	11.0	27.0	59.1
② 人間的にやさしく親切である……………	2.0	3.4	18.4	26.6	49.6
③ 友だちから信頼されている……………	1.4	2.2	15.8	26.6	54.0
④ 音楽などの趣味が豊かで深い……………	4.5	10.7	44.5	23.7	16.6
⑤ とてもまじめに勉強している……………	2.0	4.8	34.7	34.7	23.8
⑥ スポーツが得意……………	6.6	15.8	51.1	17.3	9.2
⑦ 学業成績が優秀……………	3.9	6.5	43.6	28.8	17.2

2) 市民として社会生活を送っていくのに。

	まったく 不要	かなり 不要	やや 必要	かなり 必要	とても 必要
① がんばりぬく力がある……………	2.0	4.8	29.7	30.8	32.7
② 人間的にやさしく親切である……………	1.3	2.7	14.5	27.2	54.3
③ 友だちから信頼されている……………	1.0	2.7	14.1	27.3	54.9
④ 音楽などの趣味が豊かで深い……………	3.6	9.5	45.4	26.8	14.7
⑤ とてもまじめに勉強している……………	4.0	14.1	49.6	23.1	9.2
⑥ スポーツが得意……………	6.1	16.5	54.2	15.9	7.3
⑦ 学業成績が優秀……………	9.0	19.5	49.8	14.1	7.6

3) 良き父、良き母となるのに。

	まったく 不要	かなり 不要	やや 必要	かなり 必要	とても 必要
① がんばりぬく力がある……………	1.2	2.6	13.2	26.2	56.8
② 人間的にやさしく親切である……………	1.2	2.1	9.8	19.2	67.7
③ 友だちから信頼されている……………	1.3	2.7	14.3	26.6	55.1
④ 音楽などの趣味が豊かで深い……………	1.9	5.7	32.1	35.0	25.3
⑤ とてもまじめに勉強している……………	2.5	8.6	40.1	31.2	17.6
⑥ スポーツが得意……………	3.8	11.5	47.9	24.4	12.4
⑦ 学業成績が優秀……………	6.6	14.0	48.8	20.1	10.5

4) それではあなたは現在、①～⑦のような力をどれくらい持っていると思いますか。

	まったく 持って いない	あまり 持って いない	やや 持って いる	かなり 持って いる	とても 持って いる
① がんばりぬく力がある……………	5.5	35.0	43.0	13.9	2.6
② 人間的にやさしく親切である……………	3.7	17.4	53.1	21.6	4.2
③ 友だちから信頼されている……………	3.9	19.3	56.3	17.2	3.3
④ 音楽などの趣味が豊かで深い……………	4.9	25.2	38.7	20.5	10.7
⑤ とてもまじめに勉強している……………	12.1	46.0	32.2	6.9	2.8
⑥ スポーツが得意……………	11.9	31.9	33.6	16.4	6.2
⑦ 学業成績が優秀……………	14.9	46.4	31.7	5.2	1.8

5) あなたのお父さんは、あなたと同じ年齢のころ、①～⑦をどれくらい持っていたと思いますか。

	まったく 持って いなかった	あまり 持って いなかった	やや 持って いた	かなり 持って いた	とても 持って いた
① がんばりぬく力がある……………	2.3	7.4	26.2	33.6	30.5
② 人間的にやさしく親切である……………	2.6	8.0	40.6	32.6	16.2
③ 友だちから信頼されている……………	2.1	6.7	34.7	34.9	21.6
④ 音楽などの趣味が豊かで深い……………	10.9	35.6	32.6	13.6	7.3
⑤ とてもまじめに勉強している……………	4.4	17.3	31.4	25.9	21.0
⑥ スポーツが得意……………	5.1	17.4	33.1	25.6	18.8
⑦ 学業成績が優秀……………	3.6	16.2	34.7	26.1	19.4



## 6) あなたのお母さんが、あなたと同じ年齢のころはどうだったでしょうか。

	まったく 持って いなかった	あまり 持って いなかった	やや 持って いた	かなり 持って いた	とても 持って いた
① がんばりぬく力がある……………	1.8	7.3	29.6	34.1	27.2
② 人間的にやさしく親切である……………	1.8	4.4	30.9	36.5	26.4
③ 友だちから信頼されている……………	1.3	4.8	30.5	37.5	25.9
④ 音楽などの趣味が豊かで深い……………	5.8	25.6	40.5	20.2	7.9
⑤ とてもまじめに勉強している……………	2.6	14.7	39.6	28.0	15.1
⑥ スポーツが得意……………	9.1	30.0	35.0	15.8	10.1
⑦ 学業成績が優秀……………	2.3	14.8	42.7	27.5	12.7

## 7) ビジネスマンとして、社会の第一線で活躍している会社の「部長」は、高校生時代、どんな生活を送っていたと思いますか。

	まったく 持って いなかった	あまり 持って いなかった	やや 持って いた	かなり 持って いた	とても 持って いた
① がんばりぬく力がある……………	1.4	2.8	22.9	43.8	29.1
② 人間的にやさしく親切である……………	2.8	13.8	39.3	30.9	13.2
③ 友だちから信頼されている……………	2.1	6.5	28.3	41.5	21.6
④ 音楽などの趣味が豊かで深い……………	5.5	23.5	42.4	22.0	6.6
⑤ とてもまじめに勉強している……………	1.2	4.4	26.6	41.9	25.9
⑥ スポーツが得意……………	7.8	25.1	44.2	16.8	6.1
⑦ 学業成績が優秀……………	1.3	3.1	21.8	41.2	32.6

## 8) 医師として、難病の治療にあたっている人は、高校生時代、どんな生活を送っていたと思いますか。

	まったく 持って いなかった	あまり 持って いなかった	やや 持って いた	かなり 持って いた	とても 持って いた
① がんばりぬく力がある……………	1.0	1.7	10.1	33.2	54.0
② 人間的にやさしく親切である……………	1.5	4.0	17.5	31.5	45.5
③ 友だちから信頼されている……………	1.3	5.1	23.3	34.1	36.2
④ 音楽などの趣味が豊かで深い……………	4.3	17.9	43.0	23.8	11.0
⑤ とてもまじめに勉強している……………	1.1	1.3	9.3	28.6	59.7
⑥ スポーツが得意……………	6.3	25.4	43.4	15.3	9.6
⑦ 学業成績が優秀……………	1.1	1.2	8.9	21.7	67.1

9) 現在のあなたの担任の先生の高校生時代は、どうだったでしょうか。

	まったく 持って いなかった	あまり 持って いなかった	やや 持って いた	かなり 持って いた	とても 持って いた
① がんばりぬく力がある……………	4.3	4.7	27.1	36.3	27.6
② 人間的にやさしく親切である……………	5.2	9.8	35.5	30.9	18.6
③ 友だちから信頼されている……………	5.2	8.2	40.2	30.7	15.7
④ 音楽などの趣味が豊かで深い……………	10.6	22.9	40.9	17.4	8.2
⑤ とてもまじめに勉強している……………	4.2	4.1	23.7	36.6	31.4
⑥ スポーツが得意……………	9.4	25.1	40.1	15.0	10.4
⑦ 学業成績が優秀……………	4.2	4.0	24.3	36.1	31.4

10) それでは、①～⑦のような人に、あなたはどれくらいなりたいと思いますか。

	ぜひ なりたい	できたら なりたい	やや なりたい	あまり なりたくない	まったく なりたくない
① がんばりぬく力がある人……………	61.3	24.6	7.8	1.8	4.5
② 人間的にやさしく親切な人……………	72.0	16.5	5.0	1.5	5.0
③ 友だちから信頼されている人……………	73.6	15.3	5.2	1.3	4.6
④ 音楽などの趣味が豊かで深い人……………	44.8	30.6	17.3	2.7	4.6
⑤ とてもまじめに勉強している人……………	29.6	31.7	25.1	9.1	4.5
⑥ スポーツが得意な人……………	43.2	33.7	15.3	3.5	4.3
⑦ 学業成績が優秀な人……………	32.9	38.1	17.9	6.5	4.6

③ ①～⑩に、高校で習う内容が書いてあります。おとなになって生活するのにそうしたものは、どれくらい必要だと思えますか。

1) (あなたがつきたいと思っている)仕事につき、仕事をやりとげていくのに。

	まったく 不要	あまり いらぬ	やや 必要	かなり 必要	とても 必要
① 高校で習う程度の化学の知識を持つ ている……………	15.6	29.8	29.0	14.4	11.2
② 微積分をマスターしている……………	30.0	30.6	19.0	10.0	10.4
③ 英語の本をすらすら読める……………	5.4	14.4	31.0	26.0	23.2
④ 日本の歴史にくわしい……………	13.1	27.5	35.2	16.6	7.6

	まったく 不要	あまり いらない	やや 必要	かなり 必要	とても 必要
⑤ 高校で習う程度の代数・幾何の力を 持っている	18.4	29.4	27.9	12.7	11.6
⑥ 英語をうまく話せる	4.5	14.1	31.0	25.7	24.7
⑦ 社会のしくみや経済の動きにくわしい	3.2	10.6	27.9	32.5	25.8
⑧ 「徒然草」や「枕草子」などの古文 を読める	20.0	35.0	30.3	9.9	4.8
⑨ 生物について基本的な知識を持って いる	10.4	25.4	37.4	16.0	10.8
⑩ むずかしい評論の本でも理解できる	6.5	18.2	31.8	27.1	16.4

## 2) ひとりの市民として社会生活を送っていくのに。

	まったく 不要	あまり いらない	やや 必要	かなり 必要	とても 必要
① 高校で習う程度の化学の知識を持っ ている	23.8	41.6	28.1	3.9	2.6
② 微積分をマスターしている	37.2	42.4	16.2	2.0	2.2
③ 英語の本をすらすら読める	11.4	24.6	41.1	15.5	7.4
④ 日本の歴史にくわしい	10.7	25.0	42.4	16.9	5.0
⑤ 高校で習う程度の代数・幾何の力を 持っている	28.1	41.3	23.1	5.1	2.4
⑥ 英語をうまく話せる	9.9	20.1	39.0	21.0	10.0
⑦ 社会のしくみや経済の動きにくわしい	4.7	5.7	26.5	36.1	27.0
⑧ 「徒然草」や「枕草子」などの古文 を読める	24.8	40.5	26.9	6.2	1.6
⑨ 生物について基本的な知識を持って いる	14.3	31.0	40.1	10.8	3.8
⑩ むずかしい評論の本でも理解できる	11.7	26.0	36.9	18.6	6.8

## 3) 良き父、良き母となるのに。

	まったく 不要	あまり いらない	やや 必要	かなり 必要	とても 必要
① 高校で習う程度の化学の知識を持っ ている	16.8	27.9	40.4	9.5	5.4
② 微積分をマスターしている	21.9	32.5	33.0	8.2	4.4
③ 英語の本をすらすら読める	10.4	19.1	40.0	19.9	10.6
④ 日本の歴史にくわしい	9.0	13.2	38.3	27.1	12.4

● 資料 調査票見本および集計表

	まったく 不要	あまり いらない	やや 必要	かなり 必要	とても 必要
⑤ 高校で習う程度の代数・幾何の力を 持っている	18.8	28.8	37.6	9.5	5.3
⑥ 英語をうまく話せる	9.8	18.5	39.2	21.3	11.2
⑦ 社会のしくみや経済の動きにくわしい	4.1	6.0	25.7	35.0	29.2
⑧ 「徒然草」や「枕草子」などの古文 を読める	16.0	28.4	38.0	12.9	4.7
⑨ 生物について基本的な知識を持って いる	10.3	21.0	44.6	17.3	6.8
⑩ むずかしい評論の本でも理解できる	9.9	19.8	37.8	21.9	10.6

4) 1) それでは、あなたのお父さんは、次の①～⑩のような力をどれくらい持っていますか。

	まったく 持って いない	ほとんど 持って いない	少し 持って いる	かなり 持って いる	十分に 持って いる
① 高校で習う程度の化学の知識を持っ ている	16.2	31.0	36.5	11.4	4.9
② 微積分をマスターしている	24.4	32.9	27.8	9.7	5.2
③ 英語の本をすらすら読める	25.2	34.5	27.5	8.4	6.4
④ 日本の歴史にくわしい	8.3	19.0	37.8	24.3	10.6
⑤ 高校で習う程度の代数・幾何の力を 持っている	22.0	31.5	29.3	11.1	6.1
⑥ 英語をうまく話せる	27.2	36.2	24.4	5.3	6.9
⑦ 社会のしくみや経済の動きにくわしい	3.6	7.5	25.3	34.0	29.6
⑧ 「徒然草」や「枕草子」などの古文 を読める	21.7	33.1	31.0	9.9	4.3
⑨ 生物について基本的な知識を持って いる	15.7	28.7	37.2	12.0	6.4
⑩ むずかしい評論の本でも理解できる	10.5	18.9	31.6	23.5	15.5

2) あなたのお母さんは、どうでしょうか。

	まったく 持って いない	ほとんど 持って いない	少し 持って いる	かなり 持って いる	十分に 持って いる
① 高校で習う程度の化学の知識を持つ ている	30.4	42.5	21.1	4.0	2.0
② 微積分をマスターしている	38.4	40.5	16.8	3.0	1.3
③ 英語の本をすらすら読める	27.4	40.5	25.0	5.2	1.9
④ 日本の歴史にくわしい	13.1	31.3	39.7	12.6	3.3
⑤ 高校で習う程度の代数・幾何の力を 持っている	34.2	40.4	20.1	3.7	1.6
⑥ 英語をうまく話せる	31.6	40.8	21.8	3.9	1.9
⑦ 社会のしくみや経済の動きにくわしい	7.4	20.0	45.2	21.2	6.2
⑧ 「徒然草」や「枕草子」などの古文 を読める	22.5	32.7	31.4	9.6	3.8
⑨ 生物について基本的な知識を持って いる	19.8	34.4	34.8	8.1	2.9
⑩ むずかしい評論の本でも理解できる	15.4	30.6	37.4	11.6	5.0

3) あなた自身が、あなたのお父さん、お母さんと同じぐらいの年齢になったとき、次の①～⑩のような力を、どれくらい持っていられると思いますか。

	まったく 持って いないだろう	ほとんど 持って いないだろう	少し 持って いるだろう	かなり 持って いるだろう	十分に 持って いるだろう
① 高校で習う程度の化学の知識を持つ ている	11.9	33.4	42.1	8.8	3.8
② 微積分をマスターしている	16.8	37.4	33.9	8.0	3.9
③ 英語の本をすらすら読める	4.9	21.6	47.0	17.9	6.6
④ 日本の歴史にくわしい	7.7	24.5	47.7	15.7	4.4
⑤ 高校で習う程度の代数・幾何の力を 持っている	10.9	30.7	43.4	10.6	4.4
⑥ 英語をうまく話せる	7.1	25.0	47.0	14.9	6.0

● 資料 調査票見本および集計表

	まったく 持って いないだろう	ほとんど 持って いないだろう	少し 持って いるだろう	かなり 持って いるだろう	十分に 持って いるだろう
⑦ 社会のしくみや経済の動きにくわしい	3.1	12.5	51.4	25.2	7.8
⑧ 「徒然草」や「枕草子」などの古文 を読める	10.3	33.4	43.2	10.0	3.1
⑨ 生物について基本的な知識を持って いる	7.8	28.8	47.3	11.5	4.6
⑩ むずかしい評論の本でも理解できる	8.2	24.5	46.4	16.1	4.8

⑤ あなたは将来、どういう生活を送れそうですか。

	とても 無理 だろう	かなり 無理 だろう	やや 無理 だろう	もしかしたら そう なれる	たぶん そう なれる	きっと そう なれる
① 希望している大学へ進学できる	7.9	13.2	13.6	41.8	15.8	7.7
② つきたいと思っている仕事につける	5.2	8.5	14.0	44.1	20.7	7.5
③ 好きな理想的な相手とめぐりあえて 結婚できる	7.4	5.1	12.5	41.2	16.7	17.1
④ 仕事の力を認められ、仕事の面で成 功できる	3.9	6.2	18.0	51.5	12.8	7.6
⑤ 良い子どもに生まれ、しあわせな家 庭をつくれる	5.1	3.7	8.8	43.5	23.2	15.7
⑥ 経済的に生まれ、金銭的に豊かな生 活を送ることができる	3.9	5.2	14.6	53.6	15.4	7.3
⑦ まわりの人たちから好かれ、信頼さ れる生活を送れる	2.6	3.2	9.3	49.3	25.6	10.0
⑧ 趣味が豊かな生活ができる	2.6	3.6	11.6	39.2	26.3	16.7

⑥ それでは仮に、あなたの数学や英語の力がぐんとついたら、将来の見通しは変わ  
ってくると思いますか。

	とても 無理 だろう	かなり 無理 だろう	やや 無理 だろう	もしかしたら そう なれる	たぶん そう なれる	きっと そう なれる
① 希望している大学へ進学できる	1.8	1.3	3.4	15.1	36.2	42.2
② つきたいと思っている仕事につける	1.9	2.0	4.6	24.1	34.6	32.8
③ 好きな理想的な相手とめぐりあえて 結婚できる	8.1	5.5	14.8	42.1	15.4	14.1
④ 仕事の力を認められ、仕事の面で成 功できる	2.8	2.1	8.8	40.6	27.0	18.7

	とても 無理 だろう	かなり 無理 だろう	やや 無理 だろう	もしかしたら そう なれる	たぶん そう なれる	きっと そう なれる
⑤ 良い子どもに恵まれ、しあわせな家庭をつくれる	7.5	4.2	11.9	45.4	18.9	12.1
⑥ 経済的に恵まれ、金銭的に豊かな生活を送ることができる	3.9	2.4	9.8	43.2	27.1	13.6
⑦ まわりの人たちから好かれ、信頼される生活を送れる	4.9	3.2	12.0	47.6	22.1	10.2
⑧ 趣味が豊かな生活ができる	5.2	2.9	11.9	41.5	22.1	16.4

7 数学の苦手な友だちがいたとします。その人はどうして数学が苦手なのだと思いますか。

	とても そう 思う	かなり そう 思う	少し そう 思う	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない
① 家庭で勉強せずに遊んでいるから	19.4	25.0	35.5	15.7	4.4
② 学校で授業を聞かずによそ見をしているから	17.9	25.7	36.1	16.1	4.2
③ もともと数学が苦手だから	17.0	23.5	29.8	19.5	10.2
④ 勉強のしかたがわからず、無駄な勉強をしているから	16.5	28.0	33.1	16.6	5.8

8 それでは、その友だちが次の①～⑤のようなことを試みたら、数学の力はどれくらい伸びると思いますか。

	とても 効果が ある	かなり 効果が ある	少し 効果が ある	あまり 効果は ない	まったく 効果は ない
① 勉強のしかたに工夫をこらす	18.7	48.2	28.3	2.5	2.3
② まじめに授業を聞く	29.4	43.4	20.5	4.1	2.6
③ 予習や復習の時間をふやす	36.8	41.6	16.9	2.0	2.7
④ 予備校や塾へ通う	6.8	23.9	41.6	21.0	6.7
⑤ 良い参考書を見つける	7.0	23.5	47.3	17.3	4.9

9 数学や英語の苦手な友だちをイメージしてみてください。その人はどんな人だと思いますか。

- ① ふだんの日の勉強時間…… ( 1 ) 時間 ( 00 ) 分ぐらいしている  
 ② 日曜日の勉強時間……… ( 2 ) 時間 ( 00 ) 分ぐらいしている  
 ③ 予備校へは…………… 1. 熱心に通っている 2.8  
 (どれか一つに○を 2. 通ってはいるが、あまり熱心でない 19.7  
 つけてください) 3. 通っているが、さぼりがち 22.4  
 4. 通っていない 55.1

	とても ある	かなり ある	やや ある	あまり ない	まった く ない
④ がんばる力……………	3.2	6.0	34.6	49.1	7.1
⑤ 親からの信頼……………	3.7	13.3	48.8	29.3	4.9
⑥ 先生からの信頼……………	2.7	5.2	39.4	43.8	8.9
⑦ 友だちからの人気……………	8.9	29.6	45.5	12.5	3.5
⑧ まじめさ……………	3.3	8.0	39.4	41.4	7.9
⑨ ユーモア……………	14.4	37.6	37.2	8.3	2.5
⑩ 運動神経……………	16.0	35.9	35.5	8.4	4.2

10 それでは、数学や英語のとても得意な人は、どんな人だと思いますか。

- ① ふだんの日の勉強時間…… ( 3 ) 時間 ( 40 ) 分ぐらいしている  
 ② 日曜日の勉強時間……… ( 5 ) 時間 ( 00 ) 分ぐらいしている  
 ③ 予備校へは…………… 1. 熱心に通っている 47.3  
 (どれか一つに○を 2. 通ってはいるが、あまり熱心でない 4.6  
 つけてください) 3. 通っているが、さぼりがち 1.0  
 4. 通っていない 47.1

	とても ある	かなり ある	やや ある	あまり ない	まった く ない
④ がんばる力……………	44.3	45.7	7.8	1.0	1.2
⑤ 親からの信頼……………	34.7	48.0	15.0	1.0	1.3
⑥ 先生からの信頼……………	41.4	45.7	10.4	1.4	1.1
⑦ 友だちからの人気……………	13.4	33.6	41.3	8.7	3.0
⑧ まじめさ……………	40.1	45.1	11.9	1.4	1.5
⑨ ユーモア……………	8.8	20.7	43.5	21.6	5.4
⑩ 運動神経……………	7.6	18.5	42.2	23.5	8.2



11 あなたの勉強の成績は、どういう経過で現在にいたっていますか。

1) 国 語

	とても 得意	かなり 得意	やや 得意	やや 苦手	かなり 苦手	とても 苦手
① 小学2～3年生のころ	25.7	19.6	28.4	16.3	5.1	4.9
② 小学5～6年生のころ	23.6	23.8	27.4	15.9	4.7	4.6
③ 中学1年生のころ	18.4	21.3	29.4	20.5	6.1	4.3
④ 中学3年生のころ	15.7	21.4	26.9	21.3	9.2	5.5
⑤ 現 在	3.3	9.6	29.9	27.5	16.0	13.7

2) 数 学

	とても 得意	かなり 得意	やや 得意	やや 苦手	かなり 苦手	とても 苦手
① 小学2～3年生のころ	31.8	21.1	23.8	14.4	4.8	4.1
② 小学5～6年生のころ	31.4	25.3	22.2	14.4	4.0	2.7
③ 中学1年生のころ	26.5	22.2	28.3	16.6	4.2	2.2
④ 中学3年生のころ	24.9	23.7	24.1	19.1	5.1	3.1
⑤ 現 在	4.1	8.2	23.8	26.5	20.5	16.9

3) 英 語

	とても 得意	かなり 得意	やや 得意	やや 苦手	かなり 苦手	とても 苦手
① 中学1年生のころ	30.4	17.2	22.3	17.9	5.6	6.6
② 中学3年生のころ	24.0	20.7	23.2	20.0	7.5	4.6
③ 現 在	4.6	8.8	23.2	29.0	19.4	15.0

12 それでは、あなたがものすごくがんばって勉強したら、成績は良くなると思いますか。

	とても あがる	かなり あがる	少し あがる	あまり 変わらない	むしろ さがる
① 国語の成績	15.8	23.4	41.8	17.3	1.7
② 数学の成績	27.3	41.0	24.5	6.2	1.0
③ 英語の成績	28.4	42.4	23.0	4.9	1.3

13 あなたはどんなタイプの高校生ですか。

	とても そう	かなり そう	やや そう	やや ちがう	かなり ちがう	まったく ちがう
① きちんとした……………	6.5	13.1	42.6	22.8	9.1	5.9
② やさしい……………	8.4	21.0	48.3	15.5	4.2	2.6
③ おもしろい……………	10.3	20.4	41.4	19.9	4.7	3.3
④ 都会的な……………	6.7	8.3	28.5	33.7	12.8	10.0
⑤ ねばり強い……………	5.4	11.7	33.1	29.3	13.0	7.5
⑥ シヤレた……………	5.9	6.3	27.2	35.5	14.4	10.7
⑦ まじめ……………	7.6	13.6	40.9	22.7	8.9	6.3
⑧ ナウい……………	6.0	5.0	21.2	37.7	16.7	13.4
⑨ 頼もしい……………	5.7	8.3	32.7	33.3	12.0	8.0
⑩ 元気な……………	19.4	23.5	33.2	14.8	5.1	4.0

14 あなたはふだん、どのくらいの時間、勉強をしていますか。

	していない	30分 ぐらい	1時間 ぐらい	1時間半 ぐらい	2時間 ぐらい	2時間半 ぐらい	3時間 ぐらい	4時間 以上
① 平 日……………	5.5	6.1	10.5	11.9	18.6	14.6	22.3	10.5
② 土曜日……………	10.7	5.4	9.4	8.9	15.3	11.8	22.6	15.9
③ 日曜日……………	4.8	2.9	6.1	6.0	11.7	7.6	23.0	37.9

15 あなたの勉強のしかたについて、あてはまるところに○をつけてください。

	とても そう 思う	かなり そう 思う	やや そう 思う	あまり そう 思わない	まったく そう 思わない
① 授業をまじめに聞いている……………	7.6	24.9	39.8	22.7	5.0
② 予習や復習をきちんとしている……………	2.4	6.8	30.3	44.2	16.3
③ 勉強のしかたを工夫している……………	2.6	5.8	21.2	53.1	17.3
④ 良い参考書やワークブックを利用し ている……………	3.4	9.3	24.4	40.7	22.2
⑤ 通信教育を利用している……………	3.6	4.6	11.8	13.2	66.8
⑥ 予備校や塾をうまく利用している……………	1.7	3.5	11.3	13.8	69.7
⑦ 全体的に勉強をがんばっている……………	2.8	6.5	27.6	45.8	17.3

16 あなたは今、予備校や学習塾へ通っていますか。

1. 通っていない 78.6
2. 通っている……………週に  
21.4
- |   |           |
|---|-----------|
| { | 1回=42.1   |
|   | 2回=42.4   |
|   | 3回以上=15.5 |

17 高校を卒業してから、どんな進路をとるつもりですか。一つだけ○をつけてください。

- |                      |                    |
|----------------------|--------------------|
| 1. どこか適当なところへ勤める 1.7 | 4. 短大へ入る 6.5       |
| 2. よく選んで、勤めにつく 3.3   | 5. 適当な大学へ入る 67.5   |
| 3. 専修学校や専門学校へいく 5.2  | 6. むずかしい大学に入る 15.8 |

18 東大や早大など、むずかしいといわれる大学を受験したら、入学できると思いますか。

- |                    | きつと<br>入れる | なんとか<br>なる | やや<br>無理 | かなり<br>無理 | とても<br>無理 |
|--------------------|------------|------------|----------|-----------|-----------|
| ① このまゝいったら……………    | 2.4        | 1.3        | 6.4      | 10.9      | 79.0      |
| ② 一生けんめい勉強したら…………… | 6.0        | 13.9       | 19.9     | 28.6      | 31.6      |
| ③ 一浪してねばったら……………   | 8.5        | 18.6       | 23.1     | 17.2      | 32.6      |

19 あなたは、仕事と家庭の両立について、どんな見通しを持っていますか。一つ選んで○をつけてください。

1. 家庭を犠牲にしても、仕事第一の生活 3.5
2. 家庭より仕事を優先する 20.6
3. 仕事より家庭を優先する 65.8
4. 仕事を犠牲にしても、家庭第一の生活 10.1

20 あなたはどんな仕事につきたいと思っていますか。できるだけ具体的に教えてください。

— これで終わりです。長い間、ご協力どうもありがとうございました。 —